

## 16 長野県災害年表

第1表 (明治29年まで)

災害発生日	災害種別	被害状況
推古天皇11年7月 (603)	大 風	信濃国大風ありて五穀みのらず
" 34年 (626)	水 害	霖雨大水, 天下大いに飢え, 老者は草根を食いて, 道の垂に死し, 幼者は乳を含みて母子共に死す。
大宝元年8月 (701)	大 風	信濃国其他16国, 蝗と大風ありて, 虚舎を壊り, 秋稼を損す。
天平宝字6年9月 (762)	大地 風 震	信濃大風地震あり
淳仁天皇4月24日 (763)	"	"
承和8年2月13日 (841)	地 震	信濃国に地震あり, 其声雷の如し, 公私共に損せり。
仁和3年7月30日 (887)	"	信濃国地大いに震う, 大山頽崩し, 山河溢流し6郡の城墟地を払って漂流し牛馬男女流死して丘をなせり。
治安元年7月~8月 (1031)	風 水 害	霖雨後大風あり, 飢饉人民多く死す。
文治2年秋 (1186)	"	風雨洪水ありて人民飢ゆ。
応永13年8月 (1406)	水 害	延徳沖, 木島平に水害あり, 地上3丈木島平において, 千曲川, 河道変ずる。
文安5年 (1448)	"	千曲川, 延徳沖, 天竜川, 木曾川洪水, 木曾の大桑村須原定勝寺流失す。
文明14年夏	"	天竜川大洪水
文龜元年	山 崩 れ	小谷山崩壊し, 諏訪神社, 神宮寺埋没す。
永世14年 (1517)	水 害	千曲川大洪水, 地上三丈
天文2年 <sup>5月</sup> <sub>9月</sub> (1533)	"	天竜川, 大洪水
天文9年8月 (1540)	風 水 害	天竜川大洪水
" 19年8月 (1550)	水 害	千曲川延徳沖, 天竜川水害あり
永祿8年 (1565)	"	夜間瀬川大洪水, 中野附近被害多し

災害発生日	災害種別	被害状況
天正元年 8月 (1573)	風水害	天竜川大洪水
" 6年 5月 (1578)	水害	千曲川延徳沖に水害あり、夜間瀬川大洪水、中野附近悉く流失す。天竜川も又大洪水
" 13年 6月 (1585)	"	同上
" 14年 (1586)	"	木曾川洪水
" 18年 8月 (1590)	"	天竜川洪水
文禄3年 8月	"	天竜川、木曾川洪水、木曾、大桑村須原の定勝寺罹災し、移転する。
文禄4年 8月	"	天竜川洪水
慶長13年 (1608)	"	千曲川延徳沖水害あり、夜間瀬川出水し、中野附近被害多し、天竜川、木曾川も又大洪水となる。
" 17年 5月 (1612)	"	天竜川大洪水、箕輪郷の三日町を、天竜川の東現在のところに移す。
" 18年 (1613)	"	千曲川木島平、水沢平、延徳沖大水害、木島平川欠けとなり、坂井天神堂の耕地200余町村が水中に没す。農民逃散して残るもの28戸という。堀氏、堤防復旧につとめる。
" 19年 8月28日 (1614)	"	千曲川洪水沿岸人家田圃流失し、溺死者多し、天竜川、大滝川、西野川洪水、木曾、黒沢村免租4石余
元和4年 5月 (1618)	"	天竜川洪水
" 6年 8月11日 (1620)	"	千曲川洪水沿岸被害あり、塩崎村、水防のため沿岸に揚柳を植える。
" 8年 8月11日 (1622)	"	天竜川大洪水、近藤領上穂村の田畑4町2反7畝程流失
寛永元年 4月 (1624)	"	千曲川洪水延徳沖、木島平、水沢平に被害あり、天竜川大洪水
" 4年 8月 (1627)	"	千曲川延徳沖、木島平、屋代雨宮県に被害あり、又天竜川も大洪水
" 11年 (1634)	"	宮川大洪水(諏訪)
" 12年 (1635)	"	千曲川洪水延徳沖に水害あり、又稻荷山へ浸水し極楽寺危険なるをもって現在の地に移転する。
" 10年 1月23日 (1633)	地震	大町で家屋半壊300戸死者56人出す。

災害発生年月日	災害種別	被害状況
寛永10年10月 (1633)	水害	犀川大洪水平瀬川の一部退転する
" 15年夏 (1638)	"	西野川, 王滝川洪水, 黒沢村免租5石余
" 18年 (1641)	"	千曲川延徳沖, 木島平に水害あり
寛安元年 3月 5月 (1648)	"	天竜川洪水
" 3年8月3日 (1650)	"	千曲川増水塩崎村にて1丈3尺家屋浸水し田圃被害多し, 木曾川, 天竜川も又洪水あり
承応元年6月 (1652)	"	天竜川洪水被害多し
" 3年 (1654)	"	天竜川洪水あり
明暦3年8月3日 (1657)	"	千曲川延徳沖, 木島平に水害あり, 塩崎にて1丈2尺被害あり又天竜川大洪水
万治3年4月19日 (1660)	"	天竜川大洪水, 8日間にわたって被害多し
" 3年8月1日 (1660)	"	千曲川犀川洪水, 延徳沖, 木島平に水害あり, 高瀬川も洪水
寛文元年6月 (1661)	"	天竜川洪水
" 2年6月 (1662)	"	天竜川洪水
" 2月8月1日 (1662)	"	千曲川, 犀川洪水, 真島村, 川合村浸水被害
" 10年6月8日 (1670)	"	千曲川増水, 塩崎村にて, 1丈2尺被害あり, 天竜川大洪水
" 11年7月2日 (1671)	"	千曲川洪水, 塩崎村にて増水, 1丈4尺沿岸田圃荒廃, 浸水家屋多し, 延徳沖に水害あり
延宝元年 (1673)	"	天竜川大洪水
" 2年5月 (1674)	"	犀川出水, 黒沢川荒れ, 住吉村水浸しとなる
7月	"	千曲川洪水, 延徳沖, 木島平に水害あり, 天竜川も大洪水
" 4年7月 (1676)	"	千曲川延徳沖, 木島平に水害あり, 木島平に大川欠あり, 野坂田耕地より坂井天神堂に及び坂井村の如きは, 村高660石の内余す所僅かに30石のみ居所を失う者多し, 罹災者の多くは往郷村計見山の奥へ避難す。天竜川も又大洪水
" 6年8月 (1678)	"	天竜川大洪水

災害発生日	災害種別	被害状況
" 8年7月9日 (1680)	水害	千曲川洪水、延徳沖、木島平にて水害、塩崎村にて増水、1丈6尺、沿岸田圃一掃され、人家浸水多く八幡村、町裏に浸水す。天竜川も洪水
元和3年 (1683)	"	犀川洪水被害多し
元禄2年5月22日 (1689)	"	千曲川洪水、沿岸被害あり、天竜川も又大洪水
" 4年6月4日 (1691)	風水害	木曾地方大風雨、道路処々大破す。
" 7年8月3日 (1694)	水害	千曲川洪水被害あり、木島平に水害あり、天竜川、高瀬川も洪水
" 9年8月 (1696)	"	犀川洪水、綱島村、高185石、荒地となる。天竜川も洪水
" 11年5月1日 (1698)	"	千曲川洪水塩崎村にて増水1丈6尺、天竜川大洪水、下平村へ切り込む未曾有の大惨事を起した。
" 12年8月 (1699)	風水害	天竜川大洪水、昨年5月の大洪水に次ぐ洪水にて、下平村に大水害があった。
" 14年8月 (1701)	水害	千曲川、犀川、天竜川大洪水、塩崎村地籍、川欠となる所あり、青木島の鍛冶沼部落流失し住民四散する。上高井郡相之島村全部流失、延徳沖、木島平にも水害あり、木曾川王滝川も洪水
" 15年8月3日 (1702)	水害	千曲川、天竜川洪水被害あり、延徳沖、木島平に水害あり、高瀬川、青木花見村、狐島村に切込む。
宝永元年7月 (1704)	"	天竜川、犀川洪水
" 2年7月8日 (1705)	"	犀川、千曲川洪水、真島村、梵天浦の堤防破壊する。天竜川も洪水にて、田畑の流失多きため公儀役人視察する。
" 4年6月 (1707)	"	千曲川延徳沖、木島平に水害あり、天竜川にも洪水あり
" 10年4月	地震	松本町の倒壊家屋178軒、半壊173軒にも及ぶ
宝永5年9月 (1708)	水害	天竜川洪水
正徳元年9月 (1711)	"	千曲川、天竜川洪水、延徳沖に水害あり
" 4年3月15日 (1714)	地震	千国村、山岳崩れ、男女30人牛馬8匹死亡、四ヶ庄堀内村、人家48軒潰す。男女14人牛馬36匹死亡、中谷村雨中において、2軒来馬村雨中に於いて4軒、同村宮本に於て、4軒土谷村下瀬に於て、6軒、同村山屋において2軒、姫川、満水沿岸の潰家を失う。湛水は北城村塩島に到り決壊す。

災害発 生 年 月 日	災害種別	被 害 状 況
正徳5年6月17日 (1715) ~18日	水 害	天竜川古今未曾の大洪水、田畑家屋道橋の流失限りなし、犀川洪水新橋平瀬橋熊倉橋落つ。木曾川洪水、須原宿古町流亡す
享保元年八月 (1717)	"	天竜川洪水
" 4年8月15日 (1719)	"	千曲川、天竜川洪水、被害頗る多し、世にこれを亥年の洪水と云う。
" 6年7月17日 (1721)	"	千曲川、天竜川洪水、延徳沖、木島平に被害あり
" 8年8月10日 (1723)	"	千曲川、天竜川洪水、塩崎村松節堤防欠かいし田畑流亡す。
" 9年8月6日 (1724)	風 水 害	天竜川、大風雨被害堪大
" 10年 (1725)	水 害	稗田山の金山沢崩かいし、姫川を堰止め、姫川洪水となり、諏訪神社が流失す。
" 12年7月 (1727)	"	牛伏川、氾らん被害300町歩
" 13年8月3日 (1728) " 9月13日	"	女鳥羽川、薄川、氾らん、松本被害多し、犀川洪水し、新橋、熊倉橋流失す。 千曲川、天竜川洪水
" 14年2月2日 (1729)	"	大雨2日夜、隔雪のため千曲川洪水、塩崎村、唐猫、附近川欠となる。聖川増水して堤防を破ること13間荒地となる。
" 15年 (1730)	"	千曲川延徳沖、木島平に水害あり
" 16年5月13日 (1731)	"	千曲川増水、塩崎村に1丈5尺被害あり、延徳沖木島平に水害あり、広津村北山中にて43戸山崩の為倒伏す。又女鳥羽川薄川諸川氾らんし、松本は一面泥海となる。犀川増水し、新橋、平瀬橋流失する。
享保18年8月 (1733)	水 害	千曲川、延徳沖木島平に水害あり、高丘村記録減税6割7分
" 19年 (1734)	"	千曲川、天竜川洪水、延徳沖木島平に水害あり、 高丘村記録減税5割2分
" 20年 (1735)	"	同 上 高丘村記録減税4割6分
元文元年 (1736) 11月9日	" 風 水 害	千曲川洪水、塩崎村にて増水1丈4尺被害あり、延徳沖木島平に水害あり、高丘村記録減税5割4分 天竜川、暴風雨にて被害あり
" 2年2月8日 (1737)	水 害	犀川洪水、氷飽村大被害あり、千曲川延徳沖、木島平に水害あり、高丘村記録減税5割五分



災害発 生 年 月 日	災害種別	被 害 状 況
元文3年5月7日 (1738)	水 害	犀川、諸川出水、松本市中一円浸水、天竜川、木曾川洪水、田畑の流失多し
寛保元年6月25日 (1741)	"	千曲川、天竜川、洪水被害あり
" 2年8月2日 (1742)	"	千曲川大洪水、沿岸ことごとく流失し、溺死者1万余古今未曾有の被害となった、木島平で3丈9尺、天竜川又溢水沿岸被害あり、女鳥羽川、薄川、姫川大洪水
延享4年8月19日 (1747)	風 水 害	千曲川延徳沖に水害あり、高丘村の記録減税5割3分、女鳥羽川、姫川洪水
寛延元年 (1748)	水 害	犀川洪水、千曲川延徳沖に水害あり、高丘村記録減税4割5分
" 2年 (1749)	"	千曲川延徳沖水害あり、高丘村記録減税5割5分
" 3年 (1750)	"	牛伏川洪水、50町歩流失
宝暦2年 (1752)	"	牛伏川洪水、1,100町歩流失
" 3年 (1753)	"	延徳沖水害あり、高丘村記録減税4割5分
" 4年 (1754)	"	同上 同上 3割1分
" 5年 (1755)	"	同上 同上 3割1分
" 7年5月5日 (1757)	"	千曲川、犀川、天竜川、木曾川共に大洪水、被害大
宝暦7年8月 (1757)	"	千曲川延徳沖、木島平に水害あり
明和2年4月16日 (1765)	"	千曲川洪水、千本柳、徳間、屋代諸村に被害あり、犀川、天竜川大洪水
" 5月19日	"	大雨のため、佐野川氾らん、堤防を破り、稲荷山、王池、伊勢宮通り水田泥土浸入し被害あり
" 4年 (1767)	"	木曾川洪水、被害あり
5年5月5日 (1768)	"	霖雨のため桑原村、小坂山崩落、佐野川堤防5ヶ所欠かいし、稲荷山の田地被害多し
6年 (1769)	"	千曲川洪水、粟佐村に被害あり、天竜川も洪水あり
安永2年9月 (1773)	"	天竜川大洪水、交通断絶す
" 4年8月8日 (1775)	"	千曲川、天竜川洪水、延徳沖、木島平に水害あり

災害発生年月日	災害種別	被害状況
安永7年5月29日 (1778)	水害	高瀬川大洪水、内鎌十日市場にて15軒流出
" 8年8月26日 (1779)	"	千曲川洪水、上山田村、延徳沖木島平に被害あり、女鳥羽川、薄川氾らん、松本市内浸水被害多い
天明元年7月 (1781)	"	天竜川も又洪水あり、粟佐村に被害あり、夜間瀬川洪水、沿岸諸村に水害あり
	"	牛伏川人家60戸田畑900町歩流失
" 3年5月7日 (1783)	"	犀川出水
8月	"	千曲川洪水、延徳沖木島平に水害あり、高丘村記録減税3割9分、天竜川も洪水あり
" 4年8月16日 (1784)	"	千曲川洪水、延徳沖木島平に水害あり、高丘村記録減税3割9分
" 6年7月15日 (1786)	"	千曲川、犀川洪水、上山田村高40石3斗5升荒地となる。延徳沖にも水害あり
" 7年4月 (1787)	"	千曲川、犀川洪水、延徳沖に水害あり
寛政元年6月18日 (1789)	"	千曲川、犀川洪水、力石村高21石3斗6升荒地となる。丹波島真島村にて25軒流出、綱島村高110石6斗5升2合荒地となる。天竜川氾らんし、人家田畑の流失多し
" 2年8月19日 (1790)	"	千曲川洪水、上山田村、塩崎村に被害なり、殊に塩崎村堤防50間流出、延徳沖に水害あり
寛政3年夏 (1791)	"	延徳沖に水害あり、平野村記録田高94石4合、高丘村記録減税4割2分川欠9畝22歩
" 4年 (1792)	"	天竜川、5、6、7月3回にわたって大洪水
" 6年6月27日 (1794)	"	千曲川洪水、塩崎村堤防崩れ、中川原鎌成堂前川筋となる。延徳沖に水害あり、天竜川も洪水
" 9年10月 (1797)	"	延徳沖木島平に水害あり
" 10年5月6日 (1798)	"	松本全町海の如し、68年目の大水と云う、木曾川も洪水
" 11年3月9日 (1799)	地すべり	山抜地すべりにて北足沼14軒潰れる
~12日		
享和2年6月26日 (1802)	水害	千曲川、天竜川洪水、浸水家屋多数あり
~29日		
" 3年6月 (1803)	"	天竜川洪水



災害発生年月日	災害種別	被害状況
文化元年 8月26日 9月1日 (1804)	水害	千曲川洪水, 上山田村高75石2斗6升荒地となる。薄川, 女鳥羽川各所にて欠かい, 松本市中一円浸水人家流失, 犀川大氾らん, 溺死人有り
" 2年6月 (1805)	"	延徳沖に水害あり
" 3年7月 (1806)	"	天竜川洪水, 被害多し
" 4年6月2日 (1807)	"	千曲川増水, 被害あり, 高丘村記録川欠4町1反9畝29歩減税5割5分, 天竜川, 上穂沢川, 太田切川, 中川大洪水で田畑の被害4町7反に及んだ
" 5年7月 (1808)	水害	千曲川延徳沖に水害あり, 天竜川も洪水被害あり
" 6年3月21日 (1809)	地すべり	南小谷村, 大久保, 吉尾, 宮本, 来馬等に地すべり発生人家27戸田畑共押し埋まり下瀬は池となる
" 12年秋 (1815)	水害	牛伏川洪水, 200町歩流失
文政6年8月 (1823)	"	千曲川, 犀川大洪水, 力石村大被害, 上山田村高田41石, 畑89石, 荒地となる。四ツ屋村犀川堤防欠かいし丹波島青木島真島村を貫通し濁水流下し, 被害甚だし
" 7年8月15日 (1824)	"	千曲川洪水, 西寺尾村床上浸水7分通り, 徳間村大損害あり, 延徳沖に水害あり
文政9年 (1826)	"	牛伏川洪水, 425町歩被害あり
" 10年6月23日 7月1日 (1827)	"	天竜川大洪水 "
" 11年6月30日 (1828)	"	千曲川大洪水, 千本柳, 寂蒔, 粟佐, 松代等に被害あり, 延徳沖に水害あり, 高丘村記録川欠2町2反5畝13歩, 減税4割5分, 天竜川も又大洪水にて田畑道橋流出多し
" 12年8月10日 (1829)	"	千曲川洪水, 塩崎村, 長土手裏通堀川下続き川欠となる, 延徳沖木島平に水害あり
天保2年3月 (1831)	"	融雪の為千曲川増水被害あり
" 4年8月 (1833)	"	夏霖雨ありて延徳沖に水害あり, 高丘村記録減税3割5分
" 5年8月15日 (1834)	"	天竜川洪水あり
" 6年7月 (1835)	"	延徳沖木島平に水害あり, 天竜川洪水被害あり

災害発生日	災害種別	被害状況
天保7年7月2日 (1836)	水害	天竜川大雨で洪水、所々山崩山抜等があり、被害甚大
" 8月4日	風水害	大風雨にて千曲川、犀川大洪水沿岸被害多し、延徳沖木島平に水害あり、天竜川8月13日洪水
" 9年4月29日 (1838)	水害	天竜川大雨により洪水
" 10年 (1839)	"	延徳沖水害あり、高丘村記録川欠4町4反6畝歩、牛伏川洪水被害400町歩
" 12年5月 (1841)	"	瑞穂村に水害、25町歩浸水
" 13年 (1842)	"	桑原村佐野川の支流大雨のため土砂押し出し在沢、柳沢、櫛沢沿岸最も被害あり、南小谷村、風吹岳押し出し、来馬下寺部落の人家耕地を流失す。又薄川女鳥羽川欠かいし市中一円浸水
弘化元年6月 (1844)	水害	姫川大洪水、浦川の奥崩かいし泥土を押し出し来馬下村の人家耕地流失す、牛伏川洪水被害180町歩人家10戸余に及ぶ
弘化4年 <sup>3月7日</sup> <sub>~8日</sub> (1847)	水害	天竜川洪水
" 4月24日	地震	更級郡平林村の虚空蔵山(岩蔵山)が崩れ犀川の流れを止める。4月13日に至り岩石が一時に抜け出し、下流は大洪水となり、川中島より下流、溺死者数千人、4月15日飯山町にて増水1丈3尺、4月24日増水なお2丈9尺(本文参照)
嘉永元年6月3日 (1848)	水害	木曾川、天竜川洪水
" 3年5月17日 (1850)	"	女鳥羽川、薄川、梓川、氾らん、被害多し、犀川増水し熊倉橋落ちる
" 7月23日	"	千曲川洪水、塩崎村にて1丈3尺沿岸被害あり、延徳沖木島平に水害あり
" 4年3月 (1851)	"	田川、薄川、氾らんし人家等流失、延徳沖に水害あり
" 5年8月16日 (1852)	"	天竜川洪水ありて、被害多し
安政元年7月7日 (1854)	"	天竜川、木曾川、高瀬川洪水、被害多し
" 2年8月1日 (1855)	"	千曲川洪水、塩崎浸水家屋255軒、西寺尾村、床上浸水34軒に及ぶ
" 4年5月 (1857)	"	天竜川洪水、被害多し、延徳沖木島平に水害あり、高丘村記録川欠2町4反7畝28歩減税4割3分
" 5年6月 (1858)	"	千曲川増水延徳沖に水害あり
" 6年7月26日 (1859)	"	千曲川、犀川、天竜川、諸川洪水、被害多し

災害発生日	災害種別	被害状況
万延元年5月10日 (1860)	風水害	千曲川、犀川、天竜川、木曾川、諸川洪水、氾らんし被害甚大
文久2年7月24日 (1862)	水害	千曲川、犀川洪水、被害あり
元治元年8月26日 (1864)	風水害	大風雨で千曲川増水し、西寺尾村5分通り人家床上浸水、延徳沖木島平に水害あり
慶応元年5月17日 (1864)	水害	延徳沖水害、平野村記録田高112石9斗9升、引米55石3斗2升7合被免、避難40戸、木曾川洪水、福島宿上町下町の裏通り大被、三留野村流失4戸浸水10余戸、女鳥羽川、薄川、田川奈良井川大洪水で、松本地方大氾らん、溺死人もあり、被害甚大、天竜川150年目の大洪水といわれ各所に被害多し
6月3日	水害	梓川上流で北方へ切れ、真々部、飯田、小海渡、中曾根、熊倉両鳥羽、寺所、踏入、白金等々力を押し流し、中平坪1km長さ10kmの間濁流氾らんし、被害大
7月	水害	千曲川洪水あり、八幡村堤防欠潰し、町裏及び神領河原本流となる
9月	"	牛伏川洪水、143町歩流失
慶応2年8月 (1866)	風水害	大風雨各地に被害あり
" 3年5月19日 (1867)	山崩れ	木曾上松村上の山崩れ人家5戸潰倒、女1人馬1頭圧死す
8月	水害	木島平に水害あり
明治元年4月18日 (1868)	"	犀川、千曲川共洪水、西寺尾村浸水100戸、麦作流失、千曲川川合にて2丈5尺の増水、真島村の堤防600間根底より流失
5月8日	"	犀川は真島村、川合村の河岸数100間を欠潰し、水量2丈5尺に達する。被害80町歩損害4,300両、延徳沖木島平に水害あり、高丘村記録減税6割農作物損害2,550両、平野村記録田高157石2合、米57石1合被免、避難者39戸、瑞穂村記録浸水田、畑60町歩堤防20間、延徳村田畑180町歩収穫なし
4月～5月	水害	4月から5月にかけて、県下に長雨ありて、松本地方の女鳥羽川、薄川、田川、鎮川、奈良井川等の堤防欠かし市内は泥海と化した。天竜川も大洪水となり、田畑橋の流失多し、梓川では5月6日、真々部地内から切れ込み、熊倉までの2里余の間を流失した
6月	水害	木曾川洪水、藪原村5戸流失3名溺死
8月	"	夜間瀬川出水して被害あり
" 2年7月13日 (1869)	"	千曲川洪水被害あり、延徳沖木島平に水害あり、高丘村被害田30町1反、畑15町2反、損害1,055両、平野村田高48石5斗3升6合、皆引米42石8斗4升9合被免引、天竜川大風雨にて、洪水被害あり

災害発 生 年 月 日	災害種別	被 害 状 況
明治 2 年 9 月 16 日 (1869)	水 害	延徳沖に水害あり、高丘村被害、田、35町 2 反、畑、26町損害1,005 両
" 3 年 5 月 3 日 (1870)	"	千曲川洪水被害多し、木島平に水害あり
8 月 7 日	"	千曲川洪水あり
9 月 8 日	"	天竜川大洪水各所に被害あり
" 4 年 8 月 1 日 (1871)	"	桑原村、佐野川に本支流横溢して土砂を押し出被害あり
" 7 年 7 月 6 日 (1874)	"	千曲川、犀川増水被害あり、青木島の被害38町 7 反歩、高丘村被害950円
" 8 年 8 月 10 日 (1875)	"	天竜川洪水あり
9 月	"	三岳村本洞川洪水、溺死者 3 名、田畑其の他被害3,000円
" 9 年 7 月 18 日 (1876)	"	千曲川二度洪水、小島田村 4 町 9 反 9 畝 2 歩荒地となる。この水害更級郡を通じて、浸水200余戸損害30,000円、高丘村被害1,950 円
9 月 18 日	"	
9 月 15 日	"	天竜川洪水あり
" 11 年 7 月 14 日 (1878)	"	木曾新開村、正沢川洪水、田畑被害1,600円
8 月	"	女鳥羽川、梓川氾らん、被害あり
" 13 年 8 月 (1880)	"	木曾蘭川氾らん、田畑 1 町歩被害、南沢御料地処々潰崩す
10 月	風 水 害	暴風雨にて天竜川洪水となり各所で氾らんす
" 14 年 9 月 14 日 (1881)	水 害	桑原村佐野川本支流横溢し、多くの荒地を生ず、薄川、長沢川洪水川南浸水天竜川洪水被害あり
" 15 年 5 月 (1882)	"	薄川増水、堤防欠かいし、埋橋、南深志、巾上浸水
9 月 2 日	"	千曲川洪水、八幡村、出水11尺堤防22間切れ、八幡、稻荷山地籍浸水300戸、塩崎の堤防欠かいし、田畑人家浸水、二ツ柳、御幣川浸水300余戸、西寺尾村浸水150戸、小島田村 4 町 2 畝を荒地とす
10 月 1 日	"	千曲川再び氾らん、若宮村堤防85間流失し、田畑70町歩浸水、真島村堤防 2 ヶ所欠かいし、浸水100町歩、人家浸水120戸、延徳沖木島平にも水害あり、薄川氾らんし、川南一円浸水、天竜川大洪水となる。木曾川も被害あり
" 17 年 7 月 15 日 (1884)	"	天竜川洪水、木曾川洪水、人家流出、溺死者等被害多し
~ 16 日		



災害発生日	災害種別	被害状況
明治18年7月1日 (1885)	"	千曲川、犀川、天竜川県下各河川が氾らんし被害あり 千曲川、若宮村、外河原堤防60間欠かいし、田畑浸水60町歩、稲荷山浸水家屋200戸、塩崎村堤防欠かいし、人家田畑浸水、柴村地籍浸水200戸以上、田畑浸水甚だし、真島村堤防75間欠かいし耕地90町歩浸水、家屋浸水、135戸に達す。犀川は青木島下河原堤防を破り、耕地35町歩流失す、延徳沖木島平に水害あり損害計10,000余円
7月29日	"	犀川、穂高川出水し、家屋の浸水150戸、浸水面積265町歩におよぶ
" 19年5月 (1886)	"	犀川洪水、綱島村にて住居囲堤防100間を破かいす、千曲川も増水し、小島田村にて浸水のため1町1反8畝の荒地を生ず
" 22年7月9日 9月12日 (1889)	"	千曲川洪水、八幡稲荷山浸水150戸、塩崎村耕地浸水、小島田村8反9畝26歩荒地を生ず、天竜川にも洪水あり、田畑流失等被害あり、この年洪水回数36回、関係町村150
" 23年8月23日 10月5日 (1890)	水 害	千曲川洪水、稲荷山浸水130戸、夜間瀬川大洪水あり、沿岸被害多し、天竜川にも洪水あり、8月薄川と女鳥羽川が合流し、松本全市が水びたしとなった又梓川が氾らんし飯田、熊倉で田畑流失5町歩、家屋23戸流失、その他浸水による被害あり
" 25年5月3日 (1892)	水 害	千曲川洪水、稲荷山浸水家屋130戸、塩崎耕地に浸水あり
" 27年8月 (1894)	"	5月千曲川、犀川洪水、8月11日千曲川再び氾らん、稲荷山2回通じて180戸浸水、延徳沖に水害あり、損害3,500円余、夜間瀬川出水、被害多し、天竜川大洪水で被害あり
" 29年5月28日 7月20日 ~21日 (1896)	山 崩 水 害	奈川村、角ノ平向山潰崩6戸埋没、12人死亡、1人負傷 千曲川寛保以来の大洪水、沿岸各村の被害甚大、延徳沖木島平水沢平諸部落はことごとく山沿いに避難、延徳沖3丈2尺木島平3丈5尺の出水、夜間瀬川、樽川出水損害頗る多し、松本開基以来の大災害、家屋流出121軒、破損浸水5,091戸、木曾川天竜川も又大洪水、29年の公共土木被害、道路毀損237,081間、堤防欠壊97,133間、橋梁流失3,700ヶ所、川除破損4,850間、用悪水破損6,495間、被害額1,104,970円

第2表 (明治30年~46年まで)

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
(1897) 明治30. 7. 30 " 30. 9. 29 ~30	大雨	県下全域	連続雨量 長野78.0mm	延徳沖に水害 犀川, 千曲川共に洪水, 犀川にあつては9ヶ町村被害, 2戸流失, 9戸浸水, 5町8反歩荒廃, 千曲川にあつては被害1町15ヶ村590戸に浸水1町3反歩荒廃, 木曾川天竜川にも被害があつた この年の公共土木被害, 道路毀損69,883間, 堤防欠かい34,623間, 橋梁流失1,164ヶ所, 川除破損1,282間用悪水路692間, 被害額442,802円
(1898) " 31. 9. 7	台風	県下全域	連続雨量 長野94.4mm	千曲川 戸倉村大西堤砂150間破かい, 埴科村家屋3戸流失, 戸倉温泉3戸流失 更級郡下1町15ヶ村に被害, 家屋35戸流失, 6,764千戸浸水, 235町歩荒廃 犀川 8村に被害, 3町5反5畝流失, 天竜川, 高瀬川にも被害があつた。
(1899) " 32. 9. 8 10. 7	大雨	県下全域	松本86.0mm 長野65.8mm 飯田64.7mm 松本50.4mm 長野44.4mm	千曲川洪水, 更級郡1町12ヶ村に被害, 浸水77戸, 4町5反荒廃
(1902) " 35. 7. 15 " 35. 9. 7	大雨	北信	連続雨量 長野72.8mm	犀川洪水 牧郷, 更府, 信里, 共和真島の5ヶ村, 汜らん26町歩 延徳沖の水害損害120,000円, 高瀬川洪水, 社村, 開田大被害 千曲川洪水, 真島外1町9ヶ村にわたり汜らん209町歩
(1903) " 36. 7. 9 10. 2	大雨	県下全域	長野46.0mm 飯田79.3mm 長野39.8mm 松本68.8mm 飯田66.4mm	千曲川洪水1町14ヶ村にわたり167戸浸水 延徳沖水害 損害26,000円, 天竜川洪水
(1904) " 37. 5. 12 7. 10	台風 大雨	安曇地方 県南部	不明 長野29.1mm 松本38.5mm 飯田114.0mm	高瀬川洪水, 社村堤防40間欠かい 西筑摩郡吾妻村の南木曾岳などが山抜けし, 同時に蘭川土石流となり, 死亡7人, 行方不明27人, 家屋全かい8戸, 流失57戸, 田畑山林宅地流失37町歩 同郡神坂村, 岩田川汜らんし死亡4



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
				<p>人、田畑流失78町歩</p> <p>11日木曾川洪水 読書村、死亡4人 負傷者1人、家屋1戸流失、山口村1戸流失、浸水3戸、大桑村山抜け人家3戸全かい、負傷者2人</p> <p>千曲川洪水 村上村外1町7ヶ村に床上浸水13戸、250町歩浸水、特に東福寺、西寺尾の被害多大</p> <p>天竜川洪水</p>
<p>(1905)</p> <p>〃 38. 6. 20</p> <p>8. 18</p>	台風	県下全域	<p>長野 47.1mm(6.19)</p> <p>松本110.7mm(6.19)</p> <p>長野 51.3mm(8.17)</p> <p>松本116.8mm(8.17)</p> <p>飯田113.2mm(8.17)</p>	<p>千曲川 更級郡下沿岸、床上浸水35戸、床下浸水86戸、541町歩</p> <p>氾らん犀川 日原村、耕宅地15町歩浸水</p> <p>延徳沖水害 損失110,000円</p> <p>女鳥羽川、田川、薄川氾らん 橋梁堤防欠かい 天竜川洪水</p> <p>姫川、高瀬川、洪水 流域各地に水害</p>
<p>(1906)</p> <p>〃 39. 7. 16</p> <p>7. 28</p>	台風	県下全域	不明	<p>千曲川洪水 村上村外8ヶ村被害、死者1人、橋梁流失6ヶ所、家屋流出14戸、全かい2戸、半かい13戸、床上浸水1,423戸、床下浸水961戸、1,997町歩浸水</p> <p>犀川 日原村で5町7反8畝氾らん 田川、女鳥羽川、薄川、堤防欠かい 橋梁流失、天竜川洪水</p>
<p>(1907)</p> <p>〃 40. 8. 24</p>	台風		不明	<p>千曲川大洪水 真島外11町村大被害 特に稲荷山、川柳、東福寺、西寺尾 床上浸水438戸、床下浸水512戸、耕地農作物の被害大、堤防道路欠かい 橋梁の流失等損害112,922円、</p> <p>延徳沖 堤防欠かい360間、浸水家屋138戸、水田浸水692町8反、畑浸水348町3反、その他損害130,000余円</p>
<p>(1910)</p> <p>〃 43. 8. 11</p>	全県下	大雨	<p>雨量</p> <p>長野105.4mm</p> <p>飯田117.2mm(8.10)</p> <p>松本 62.6mm(8.10)</p>	<p>千曲川 埴科郡下、死者1名、家屋全かい25戸、半かい23戸、一部損かい714戸、流失17戸、床上浸水2058戸、床下浸水367戸、堤防被害116ヶ所、道路162ヶ所、橋梁31ヶ所、田畑宅地その他流失2,317町歩、浸水12,429町歩、更級郡下、損害541,162円 下高井郡、損害649,300円</p> <p>夜間瀬川出水 平隠村、上河原温泉全滅する</p>

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
				犀川、高瀬川穂高川氾らん 家屋浸水 223戸、田畑124町歩 女鳥羽川、薄川外小河川氾らん、松本市内被害大、天竜川被害甚大 この年の県下の被害、死者22名、負傷者20名、河川1,653ヶ所、道路2,366ヶ所、橋梁1,118ヶ所、砂防73ヶ所、家屋、住家17,197戸、非住家7,348戸、土地1,838町、被害総額7,880,028円
(1911) 明治44. 6. 19	台風	南信	長野27.5mm(6.16) 飯田71.2mm(6.15)	天竜川 伊那から南部及び木曾谷南部にかけて被害があった。
7. 16 ~17	大雨	北安曇郡	不明	姫川洪水 沿岸南小谷村、中土村流失倒壊家屋があった。
8. 5	全県下	大雨	雨量 長野24時間最大113.6mm 飯田202.2mm(8.4) 松本155.9mm(8.4)	県下各河川氾らんし被害大 この年の県下の被害、死者54人、負傷41人、河川2,149ヶ所、道路3,806ヶ所、橋梁1,695ヶ所、砂防252ヶ所、家屋住家15,683戸、非住家6,421戸、田畑、宅地、その他1,266町9反1畝、被害額3,960,804円
8. 9	山崩れ	南小谷村	長野168.4mm(8.3~8.5)	稗田山大崩壊し姫川を堰止めた。死者23人、家屋流失26戸、浸水47戸、(本文参照)
(1912) " 45. 4. 26	山崩れ	南小谷村	不明	稗田山 2回にわたり崩壊し泥流を流す。
5. 4	"	西筑摩郡	不明	木祖村、萩原、曾根山沢崩かいし死者5人、1戸埋没
5. 29	"			
(1912) 大正1. 9. 22	台風	県下全域	長野 29.2mm 飯田 89.4mm 松本 42.8mm	今年の県下の被害、死亡者7人、負傷者35人、道路6ヶ所、橋梁21ヶ所住家3,455戸、非住家1,926戸、被害額296,309円
(1914) " 3. 8. 13	大雨	県下全域	長野 58.1mm(8.13) 松本124.5mm(8.13)	今年の被害、死亡者67人、負傷者36人、河川981ヶ所、道路5,570
8. 30			長野 28.9mm(8.29) 松本 42.2mm(8.29~8.30)	ヶ所、橋梁847ヶ所、砂防3ヶ所、田畑、その他792町4反、住家3,360戸、非住家4,108戸被害額2,219,882円
(1916) " 5. 7. 1	大雨	北安曇郡	不明	高瀬川、姫川共に出水して被害があった。
9. 22	"	県下全域	連続雨量 長野184.2mm	各河川出水による被害があった。
~28				今年の県下の被害、死者2人、負傷者1人、河川166ヶ所、道路287ヶ所、橋梁248ヶ所、砂防29ヶ所、田畑宅地

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
				その他146町2反歩, 住家110戸, 非住家4戸, 被害額201,674円
(1917) 大正6. 9. 10.	大雨	県下全域		今年の県下の被害, 死者3人, 負傷者3人, 河川594ヶ所, 砂防10ヶ所, 田畑, その他430町3反歩, 住家2,702戸, 非住家2,142戸, 被害額724,024円
(1918) # 7. 11. 11	地震	大町附近		建物22戸倒壊, 半かい876戸, その他被害があった。
(1923) # 12. 6.	豪雨	県下 (特に木曾 谷下伊那 郡)	木曾山脈一帯に集中豪雨があった。	木曾川においては土石流で死者80人負傷者30人を出す大惨事を起した。今年の県下の被害, 死者83人, 負傷49人, 河川271ヶ所, 道路933ヶ所, 橋梁733ヶ所, 砂防5ヶ所, 田畑, その他199町8反9畝歩, 住家1,272戸, 非住家562戸, 被害額4,396,890円
(1929) 昭和4. 9. 9 ~10	大雨	県下全域	連続雨量 長野120.4mm 追分119.9mm 松本143.6mm 木祖152.0mm 飯田122.1mm	死者1人, 床上浸水19戸, 床下浸水222戸, 田畑被害269.3町歩, 道路47ヶ所, 橋梁20ヶ所, 河川18ヶ所
(1930) # 5. 7. 30 ~ 8. 2	"	"	連続雨量 飯山 83.5mm 上田 88.3mm 岩村田104.0mm 長野 96.5mm 大町138.8mm 松本132.5mm 福島151.5mm 諏訪 91.6mm 伊那111.4mm 飯田152.2mm	死者10人, 家屋流失7戸, 床上浸水49戸, 床下浸水969戸, 堤防欠かい2,049間, 道路欠かい898間, 橋梁46ヶ所, 田畑1,295町歩, 被害額410千円
(1932) # 7. 7. 1 ~ 2	"	"	" 飯山 74.4mm 岩村田55.0mm 上田 64.7mm 長野 67.8mm 大町 89.3mm 松本 80.2mm 福島172.5mm 諏訪 99.1mm 伊那118.5mm 飯田190.5mm	道路128ヶ所, 橋梁37ヶ所, 河川280ヶ所, 被害額1,400千円
7. 7 ~ 8	"	"	" 飯山 79.2mm 岩村田67.0mm 上田 93.9mm 長野 81.0mm 大町 85.4mm 松本 97.5mm 福島146.1mm 諏訪121.0mm 伊那 94.2mm 飯田126.1mm	道路125ヶ所, 橋梁54ヶ所, 河川398ヶ所, 砂防24ヶ所, 被害額1,990千円
(1933) # 8. 8. 13 ~14	豪雨	長野市附近	" 長野101.0mm (1時間雨量63.0mm) 鬼無里255.0mm	家屋全かい5戸, 半かい6戸, 流失5戸, 床上浸水99戸, 床下浸水768戸, 河川35ヶ所, 道路30ヶ所, 橋梁51ヶ所, 土木被害額469千円
(1934) # 9. 6. 19 ~20	大雨	県南部	" 飯山 10.8mm 上田 55.4mm 岩村田 63.4mm 長野 28.1mm 大町 60.2mm 松本 68.0mm 福島225.9mm 諏訪108.9mm 伊那185.0mm 飯田157.7mm	河川402ヶ所, 道路288ヶ所, 橋梁85ヶ所, 砂防16ヶ所, 土木被害額1,560千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和9. 7. 10 ~12	大雨	南安曇郡	連続雨量 松本 37.8mm 大町 10.9mm 長野 51.8mm 飯山113.0mm	河川135ヶ所、道路188ヶ所、橋梁87ヶ所
9. 9. 21	台風	県下全域	四国の室戸岬西方に上陸、京阪地方に大被害をもたらした。 最大風速 長野 S S W13.5m 松本 S S E24.4m 飯田 S17.0m  雨量 長野 11.2mm 松本12.5mm 飯田40.5mm	死者7人、負者82人、家屋全かい175戸、半かい1,534戸、非住家全かい345戸、半かい1,362戸、土木被害135千円、農作物その他6,567千円、被害総額7,433千円
(1935) " 10. 6. 28 ~29	前線豪雨	中南信	連続雨量 上田 58.9mm 長野 77.5mm 松本 96.1mm 大町 96.1mm 南木曾155.7mm 福島354.3mm 諏訪109.3mm 伊那100.4mm 飯田122.1mm	死者1人、負傷者1人、家屋全かい5戸、半かい35戸、流失16戸、床上浸水351戸、床下浸水1,998戸、田畑流失216.84町歩、埋没178.4町歩、浸水849.2町歩、林野3,666町歩、林道26,276.0m、道路275ヶ所、橋梁55ヶ所、河川532ヶ所、砂防79ヶ所、農作物の被害708千円、被害総額7,219千円
10. 24 ~26	台風	東信		雨量は南佐久東部と下伊那で300mmを越えたが、他の大部分は100~200mm、坂城以北の千曲川流域は100mm以下であった。負傷者1名、床上浸水78戸、床下浸水113戸、家屋全かい2戸、流失1戸、田畑流失63.0町歩、道路73ヶ所、橋梁43ヶ所、河川99ヶ所、砂防4ヶ所
(1936) " 11. 6. 27 ~29	大雨	上、下伊那	連続雨量 飯田116.3mm 伊那109.8mm 諏訪 51.7mm 福島 79.2mm 松本 39.2mm 大町 91.1mm 長野 67.6mm 飯山 83.1mm	河川390m、道路2,313m、橋梁6ヶ所、田畑63町歩
(1937) " 12. 7. 28 ~29	雷雨	長野市附近	28日 1時間雨量 (18時40分~19時50分) 55.7mm 19時~10分間 19.0mm 29日 14時10分~17時10分 67.0mm 14時10分~15分間 25.8mm	住家全かい19戸、半かい60戸、流失2戸、床上浸水294戸、床下浸水1,922戸、非住家全かい3棟、半かい11棟、流失3棟、浸水236棟、堤防121ヶ所、道路192ヶ所、橋梁33ヶ所、耕地被害40.6町歩
(1938) " 13. 7. 1 ~5	豪雨	上下伊那 木曾谷	連続雨量 飯山 39.9mm 岩村田92.6mm 上田 95.3mm 長野 69.9mm 大町128.0mm 松本101.0mm 諏訪 18.0mm 伊那187.6mm 飯田245.8mm	死者6人、行方不明1人、負傷者2名、住家流失2戸、全かい4戸、田畑1,272町歩、道路595ヶ所、橋梁141ヶ所、河川429ヶ所、砂防24ヶ所
(1940) " 15. 6. 19 7. 12 7. 15	雷雨性豪雨 集中豪雨 台風	上、下伊那 北信 (姫川水系) 南信 北信	" 飯田212.0mm 辰野200mm 不明 "	天竜川増水被害大 堰堤1ヶ所流失、水田5反歩流失、大糸線鉄道40m流失、被害額100千円 南信 道路欠かい4カ所、農作物等被害額200千円



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和15, 8, 26	前線豪雨	南佐久地方	雨量 白田町57.7mm	中信 道路欠かい10ヶ所, 河川欠かい4ヶ所, 被害額60千円 北信 護岸欠かい17ヶ所, 道路欠かい17ヶ所, 橋梁6ヶ所, 人家浸水数戸, 被害額150千円 護岸欠かい1ヶ所, 道路欠かい1ヶ所, 橋梁2ヶ所, 被害額100千円
(1941) " 16, 6, 6	豪雨	中信	不明	梓川氾らん 人家浸水12戸, 耕地流失1町5反歩, 浸水7町歩, 堤防欠かい135m
7, 15	地震	長野市附近		死者6人, 重傷3人, 軽傷15人, 住家全かい29戸, 半かい115戸, 非住家全かい48戸, 半かい122戸, その他道路橋梁等に被害があった。
(1942) " 17, 6, 25	梅雨最前線	南信	不明	護岸欠かい2ヶ所, 堤防欠かい1ヶ所, 道路欠かい2ヶ所, 水田20町歩浸水
(1943) " 18,	地震	県北部	不明	死者1人, 重傷4人, 軽傷10人, 住家全かい14戸, 半かい66戸, 非住家全かい20戸, 半かい50戸, その他道路鉄道等に被害があった。
(1944) " 19, 7, 21 ~22	集中豪雨	北信 中信	不明	姫川水系, 堤防欠かい1ヶ所, 家屋流失1戸, 水田1町歩流失 木曾地方山津波で行方不明4人, 流失家屋7戸
(1945) " 20, 9, 18	枕崎台風	県下全域	九州南部枕崎に上陸(中心気圧示度687.5mm)能登半島付近に達し, 再び上陸し本州を横断する。 最大風速20.8m (松本)	死者1名, 重傷4名, 全壊8戸, 半壊275戸, 非住家274棟
20, 10, 3 ~11	台風	県下全域	雨量 長野 24.9mm 松本 21.3mm 飯田 46mm 軽井沢 24.7mm 台風による前線のしげきにより風は弱い雨量は多かった。 連続雨量 長野291mm 松本420mm 諏訪328mm 上田346mm 飯山290mm 大町334mm 軽井沢353mm 伊那408mm 飯田417mm 王滝524mm	死者42名, 行方不明1名, 重傷6名, 田畑1,346ha, 堤防530ヶ所, 道路994ヶ所, 橋梁261ヶ所, 全壊102戸, 半壊4戸, 床上浸水2204戸, 床下浸水4,848戸
(1947) " 22, 9, 14 ~15	カスリーン台風	東信	台風の北上により温暖前線の停滞 連続雨量 軽井沢169mm 岩村田184mm	田畑浸冠水1,415ha, 林道14km, 作業道25km

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
			上田 91mm 川上140mm 長野 55mm 松本 77mm 諏訪 93mm 伊那84mm 飯田 76mm	
(1948) 昭和23. 9. 16	アイオン台風	県下全域	伊豆半島南端をかすめ富崎と木更津の間に上陸した。 最大風速 長野13.3m 飯田107m 雨量 長野44mm 飯田30mm	堤防欠壊28ヶ所、道路9ヶ所、橋梁流失14ヶ所、治山440ヶ所
(1949) " 24. 6. 19 ~7. 2	テラ台風	中、南信	風台の北上にともない、梅雨前線をしげきした。 連続雨量 軽井沢 63mm 上田 41mm 長野 29mm 大町136mm 松本115mm 諏訪 82mm 開田229mm 伊那147mm 飯田133mm	死者1名、床上浸水2戸、床下浸水4戸、田冠水78ha、道路損壊8ヶ所、橋梁流失1ヶ所、堤防欠壊1ヶ所、治山145ヶ所
8. 31 ~9. 1	キテイ台風	県下全域	伊豆半島東海岸を北上し、小田原の西方に上陸し(中心気圧960mb)柏崎付近を通過して日本海に出る。 最大風速 長野17.9m 松本13.2m 軽井沢21.9m 連続雨量 軽井沢350mm 上田 77mm 長野 92mm 大町201mm 松本147mm 諏訪 97mm 王滝104mm 伊那 84mm 飯田 96mm	死者1名、行方不明4名、重傷者1名、住家全壊22戸、半壊26戸、流出13戸、床上浸水1,209戸、床下浸水4,040戸、河川1,014ヶ所、道路427ヶ所、砂防112ヶ所、道路427ヶ所、橋梁150ヶ所、治山575ヶ所、農作物の被害644,618千円(本文参照)
9. 21 ~23	豪雨	県下全域	台風37号、38号雨低気圧の間に顕著な前線を伴い、豪雨をもたらした。 連続雨量 軽井沢 94mm 上田110mm 長野 94mm 大町164mm 松本108mm 諏訪142mm 王滝133mm 飯田122mm 鬼無里135mm	死者6名、行方不明2名、重傷86名、住家全壊1戸、半壊48戸、流出25戸、床上浸水3,224戸、床下浸水2,167戸、非住家被害1戸、田流失埋没156ha、畑流失没190ha、田畑冠水1,013ha、道路損壊59ヶ所、橋梁流出18ヶ所、堤防欠壊14ヶ所、鉄道被害6ヶ所、通信被害200ヶ所、治山532ヶ所(本文参照)
(1950) " 25. 7. 27 ~30	ヘリーン台風	県下全域	連続雨量 軽井沢183mm 上田 45mm 長野 39mm 大町 48mm 松本 44mm 諏訪 80mm 王滝 20mm 伊那 41mm 飯田 31mm	重傷4名、床上浸水4戸、床下浸水215戸、田畑流失埋没12ha、道路損壊21ヶ所、橋梁流出1ヶ所、堤防欠壊1ヶ所、鉄道被害1ヶ所



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和25. 8. 3 ～5	熱帯性低気圧	東 信 北 信	連続雨量 軽井沢244mm 上田 90mm 長 野114mm 飯山 96mm 大 町 78mm 松本 60mm 諏 訪 57mm 王滝 20mm 伊 那 38mm 飯田 21mm	死者19名、重傷15名、軽傷72名、住家全かい105戸、半かい50戸、床上浸水871戸、農地427.4ha、農業用施設630ヶ所、治山194ヶ所、農作物被害230,937千円、被害総額844,619千円
25. 9. 3	ジェーン台風	県下全域	四国の室戸附近に上陸し、大阪湾から神戸に再上陸して若狭湾に抜ける 雨量県下南部西部の山岳地帯で100mm、南部50～100mm、中信で10～20mm、東北信で10mm以下の雨で水害はほとんどなかった。 連続雨量 軽井沢181mm 上田155mm 長 野 90mm 大町110mm 松 本175mm 諏訪284mm 王 滝383mm 伊那311mm 飯 田337mm	死者1名、重傷16名、住家全かい4戸、半かい57戸、崖ぐずれ1か所、農作物の被害面積2,123ha
25. 6. 9 ～14				死者5名、行方不明2名、負傷者24名、住家全かい17戸、半かい10戸、流失3戸、床上浸水406戸、床下浸水1,813戸、耕地被害1,005ha、河川647ヶ所、砂防82ヶ所、道路949ヶ所、橋梁213ヶ所、林地崩かい708ha、林道102km、農作物被害190,255千円、被害総額971,433千円
(1951) " 26. 7. 2	ケイト台風	南 信	雨量は県南部に多く、100～150mm、北部で30～40mmであった。	住家全かい1戸、床下浸水39戸、治山272ヶ所、砂防4ヶ所、道路2ヶ所、かけ崩れ3ヶ所、鉄道被害1ヶ所、農作物被害614ha、耕地被害57ha
26. 7. 8 ～17	梅雨末期の大雨	県下全域	連続雨量 軽井沢169mm 上田114mm 長 野79mm 大町139mm 松 本182mm 諏訪205mm 王 滝357mm 伊那213mm 飯 田250mm	負傷者6名、住家全かい1戸、床上浸水23戸、床下浸水307戸、堤防、橋梁、流失17ヶ所、道路64ヶ所、山ぐずれ13ヶ所
(1952) " 27. 6. 23 ～24	ダイナ台風	南 信	雨量は、南信地方で100～150mm、中信では100mm前後、北信地方では50～70mmであった。	治山268ヶ所、農地および農作物の被害249,143千円、被害総額455,804千円
27. 6. 30 ～7. 19	梅雨前線による大雨	県下全域 (特 に) 北 信 諏訪地方)	連続雨量 軽井沢166mm 上田213mm 長 野259mm 大町308mm 松 本188mm 諏訪291mm 王 滝435mm 伊那306mm 飯 田357mm	死者1名、行方不明1名、住家全かい15戸、床上浸水19戸、非住家115棟、河川欠かい96ヶ所、砂防6ヶ所、道路欠かい109ヶ所、橋梁流出24ヶ所、治山334ヶ所、農地230.2ha、農業用施設168ヶ所、農作物被害377,201千円、被害総額1,300,203千円、高瀬川、姫川流域で被害総額3億円余りとなる。

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
(1953) 昭和28. 6. 7 ～ 8	台風2号		この台風は梅雨前線を刺激し、台風収斂の雨を降らせ、その上分裂台風の余波で雨を降らせるという三様の雨が極めて短時間に雨を降らせた典型的雨台風である。 日雨量(7日) 長野 25mm 松本65.7mm 飯田 51.7mm 諏訪68.6mm 軽井沢 52.8mm	床下浸水33戸、河川欠かい487ヶ所、砂防112ヶ所、道路1,003ヶ所、橋梁146ヶ所、治山172ヶ所、林道1ヶ所、農地47.4ha、農業用施設330ヶ所、農作物被害201,567千円、被害総額996,848千円
28. 7. 16 ～23	梅雨末期の大雨	県下全域(特に南信)	連続雨量 軽井沢166mm 上田109mm 長野121mm 大町137mm 松本117mm 諏訪242mm 王滝473mm 伊那224mm 飯田286mm	死者7名、行方不明9名、重傷11名、軽傷158名、住家全壊110戸、半壊143戸、床上浸水131戸、河川482ヶ所、砂防88ヶ所、道路1,310ヶ所、橋梁373ヶ所、治山682ヶ所、林道9ヶ所、農地434.3ha、農業用施設817ヶ所、農作物被害316,513千円、被害総額2,785,766千円
28. 9. 25	台風13号	県下全域	紀伊半島南端潮岬付近に上陸本県を縦断し、岩手県八戸沖に抜けた。雨は平野部で50～90mmであったが西南部山岳地帯は150～260mmと平野部の3倍の短時間に降った。 連続雨量 軽井沢83.2mm 上田 89mm 長野 83.7 大町122mm 松本 94.4mm 諏訪 60.8mm 王滝 85.6mm 伊那 61mm 飯田 81.1mm	死者1名、重傷3名、軽傷22名、住家全壊31戸、半壊7戸、床上浸水157戸、河川347ヶ所、砂防171ヶ所、道路569ヶ所、橋梁254ヶ所、治山202ヶ所、林道1ヶ所、農地739.2ha、農業用施設287ヶ所、農作物被害325,935千円、被害総額1,714,689千円
(1954) " 29. 9. 18	台風14号	南 信	連続雨量 軽井沢、53mm 長野 23.3mm 松本 34mm 諏訪 22.8mm 飯田 85.7mm	河川88ヶ所、砂防4ヶ所、道路156ヶ所、橋梁29ヶ所、被害額19,967千円、遠山川上流がはらん
29. 9. 26	台風15号	県下全域	瞬間最大風速 松本27.2m/aec 雨量 南部も山岳部では70～100mmで水害はなく風台風であった。	死者1名、負傷者6名、住家全壊2戸、半壊1戸、一部破損221戸、非住家38棟、治山16ヶ所、農業用施設20ヶ所、農作物被害491,465千円、被害総額5,267,871千円
(1956) " 31. 3. 19 ～21	大雨と融雪洪水	県下全域	16日日本海低気圧の通過に伴い、18日まで続いた晴天と高温が多雪地方の雪を軟弱にし19日に至り、東支那海に発生した低気圧が県下に雨を降らせ融雪を促進した。	河川5ヶ所、砂防4ヶ所、道路28ヶ所、治山35ヶ所、林道2ヶ所、農地0.6ha、農業用施設21ヶ所、被害総額136,766千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和31. 8. 17 ~18	台風9号	上下高井南 信	台風が中心が日本海に入って北東し始めた17日午後から風が強まり瞬間13~20m/aecの強風が数時間続いた。 雨は平野部で少なく、山岳方面や南部に50~130mmの雨を降らせた。 三岳 87.8mm 平岡114.9mm	河川6ヶ所、砂防1ヶ所、道路10ヶ所、橋梁1ヶ所、農業用地施設13ヶ所、風害は上下高井郡 農作物の被害額200,000千円、被害総額215,526千円
31. 9. 26 ~27	台風15号	南 信 東 信	この台風は本土に接近し房総をかすめて三陸沖に去ったものである。 雨量 軽井沢 85.2mm 上田 72.5mm 長野 70.7mm 松本 82.7mm 諏訪 100.3mm 三岳 127.7mm 飯田 167.1mm 平岡 211.8mm	行方不明1名、負傷者1名、住家半壊5戸、一部破損3戸、床上浸水3戸、床下浸水67戸、非住家2棟、河川55ヶ所、砂防4ヶ所、道路29ヶ所、橋梁15ヶ所、農地50ha、農業用施設45ヶ所、治山38ヶ所、林道1ヶ所、農作物の被害額11,750千円、被害総額183,241千円
(1957) " 32. 6. 26 ~28	梅雨前線による大雨	伊那谷	連続雨量 軽井沢 80.6mm 上田 63.4mm 長野 54.9mm 大町102.9mm 松本 70.4mm 諏訪122.9mm 王滝163.7mm 伊那144.9mm 飯田211.2mm 平谷267.3mm	死者14名、行方不明6名、重傷6名、軽傷53名、住家全壊56戸、半壊102戸、床上浸水377戸、河川286ヶ所、砂防23ヶ所、道路290ヶ所、橋梁83ヶ所、治山179ヶ所、林道56ヶ所、農地35.9ha、農業用施設463ヶ所、農作物の被害額342,431千円、被害総額1,785,961千円
32. 7. 22	梅雨前線による大雨	北 信	この雨は日本海南部から南下した前線を低気圧が通りその際に南に湿った空気が大量が流れ込んで局地的に強雨を降らせたものである。雨量は善光寺平西部の山間地帯で数時間で70mm~150mmに達した。	河川100ヶ所、砂防25ヶ所、道路159ヶ所、橋梁18ヶ所、農地1.9ha、農業用施設78ヶ所、治山53ヶ所、林道9ヶ所、農作物の被害額77,232千円、被害総額536,446千円
(1958) " 33. 7. 24 ~26	梅雨前線による大雨	県下全域	連続雨量 軽井沢 88mm 上田 77mm 長野 66mm 大町102mm 松本 118mm 諏訪 75mm 開田256mm 伊那 79mm 飯田178mm 平岡172mm	死者3名、行方不明2名、住家全壊2戸、半壊9戸、床上浸水27戸、床下浸水181戸、河川118ヶ所、砂防16ヶ所、道路118ヶ所、橋梁38ヶ所、治山827ヶ所、林道51ヶ所、水道13ヶ所、被害総額1,404,975千円
33. 8. 25 ~26	台風17号	南 信 県 西 部	この台風は和歌山県御坊付近に上陸、近畿中部を通り金華山沖に抜け消滅した。 連続雨量 軽井沢101mm 上田 75mm 長野 58mm 大町119mm 松本 95mm 諏訪 65mm 王滝216mm 伊那117mm 飯田140mm 平岡228mm	死者6名、負傷者6名、住家全壊22戸、半壊11戸、床上浸水62戸、床下浸水594戸、河川85ヶ所、砂防9ヶ所、道路88ヶ所、橋梁25ヶ所、農地7.4ha、農業用施設163ヶ所、林道71ヶ所、鉄道11ヶ所、被害総額501,837千円



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和33. 9. 17 ~18	台風21号	県南部 北部	この台風は神奈川県に上陸。横浜、東京、千葉県北部をへて鹿島灘へ抜けた。本県では東部に140~200mmの雨が降り千曲川水系の各河川がはらんした。  連続雨量 軽井沢170mm 上田 86mm 長野 93mm 大町 82mm 松本 75mm 諏訪 66mm 王滝 49mm 伊那 59mm 飯田 54mm	死者17名、負傷者130名、住家全壊66戸、半壊93戸、床上浸水976戸、床下浸水4,377戸、非住家871棟、河川1,128ヶ所、砂防78ヶ所、道路242ヶ所、橋梁218ヶ所、農地149.1ha、農業用施設641ヶ所、林道218ヶ所、水道15ヶ所、被害総額4,965,460千円
(1959) " 34. 7. 6	雷雨	北佐久 (特に望月)	雷雨の特に強かったのは、北佐久郡本牧町付近で16時頃から約3時間半で160mm以上に達した。	住家全壊3戸、半壊30戸、床上浸水182戸、床下浸水1,384戸、非住家被害13棟、河川22ヶ所、道路6ヶ所、橋梁3ヶ所、農地1.9ha、農業用施設99ヶ所、治山115ヶ所、農作物の被害72,985千円、被害総額334,716千円
34. 8. 14	台風7号	県下全域	この台風は駿河湾から静岡県へ上陸し富士山の西を通り釜無川上流八ヶ岳附近から長野県へ侵入した。 最大風速 長野NNE 18.4m/s 松本S 14.4m/s 飯田S 12.2m/s 諏訪SSW 14.7m/s 軽井沢NE 24.4m/s 上田SE 25.1m/s 連続雨量 軽井沢228mm 上田 91mm 長野 84mm 大町156mm 松本133mm 諏訪146mm 王滝150mm 伊那 87mm 飯田151mm 平岡272mm	死者65名、行方不明6名、重傷81名、軽傷301名、住家全壊1,391戸、半壊4,091戸、床上浸水4,238戸、床下浸水10,959戸、非住家13,400棟、河川1,746ヶ所、砂防133ヶ所、道路686ヶ所、橋梁416ヶ所、農地605.7ha、農業用施設1,566ヶ所、治山1,167ヶ所、林道423ヶ所、学校被害221校、農作物の被害6,577,365千円、電力被害139,000千円、被害総額22,589,276千円(本文参照)
34. 9. 26 (台風15号)	伊勢湾台風	県下全域	此の台風は、紀伊半島の南端潮岬附近に上陸し、吉野熊野山岳地帯から飛騨地方を一気に縦断した猛烈な台風である。本県の被害は90%まで風によるものであるが、特に雨量の多かった南信一帯と県西部の山間地では小河川が急速にはらんし、被害を大きくした。	死者21名、行方不明6名、重傷43名、軽傷202名、住家全壊1,567戸、半壊8,853戸、床上浸水530戸、床下浸水2,669戸、非住家被害13,068棟、河川404ヶ所、砂防40ヶ所、道路130ヶ所、橋梁37ヶ所、農地120.7ha、農業用施設326ヶ所、治山253ヶ所、林道12ヶ所、農作物被害額2,657,872千円、被害総額9,407,586千円
(1960) 昭和35. 8. 10 ~14	台風11号 ~12号	南信	連続雨量 軽井沢112mm 上田126mm 長野132mm 大町239mm 松本150mm 諏訪153mm 王滝342mm 伊那190mm 飯田282mm 平岡429mm	住家全壊4戸、半壊2戸、床上浸水1戸、床下浸水12戸、河川198ヶ所、砂防27ヶ所、道路137ヶ所、橋梁19ヶ所、治山42ヶ所、林道38ヶ所、農地1.1ha、農業用施設87ヶ所、学校1棟、農作物被害額5,002千円、被害総額810,280千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
(1961) 昭和36. 6. 23 ~30	梅雨前線豪雨	全 県 (特 下伊那 に 上伊那)	この雨は台風6号の北上にともない前線をしげきし、連日強雨が波状的に降り、梅雨前線によるものとしては記録的のものであった。 連続雨量 軽井沢288mm 上田318mm 長 野221mm 大町249mm 松 本276mm 諏訪369mm 王 滝497mm 伊那376mm 飯 田565mm 平岡489mm	死者107名、行方不明29名、重傷119名、軽傷1,045名、住家全壊903、半壊621戸、床上浸水3,170戸、床下浸水15,351戸、河川1,906ヶ所、砂防166ヶ所、道路1,796ヶ所、橋梁372ヶ所、農地841.4ha、農業用施設2,633ヶ所、治山1,211ヶ所、林道620ヶ所、学校16校、鉄道399ヶ所、水道18ヶ所、農作物の被害額2,551,349千円、被害総額33,772,177千円(本文参照)
" 36. 9. 16	第2室戸台風	県下全域	S 9. 9の室戸台風と同じコースをたどり大阪神戸間に上陸し、能戸半島南部を経て、富山湾に突き抜けた。 最大風速 長 野 S S W 18.0m/s 松 本 S 21m/s 飯 田 S W 18.3m/s 諏 訪 S S E 16.5m/s 軽井沢 S W 15m/s 連続雨量 軽井沢 20mm 上田 57mm 長 野 55mm 松本 70mm 諏 訪 67mm 飯田111mm 三 岳132mm 平岡215mm	死者2名、重傷10名、軽傷23名、住家全壊142戸、半壊1,243戸、床上浸水16戸、床下浸水156戸、非住家被害1,771棟、被害総額3,793,281千円
(1962) " 37. 6. 13 ~14	梅雨前線による水害	全 県 (特 に 中 南 信)	県下では13~14日朝にかけて雨がもっとも強く60~150mmの大雨となった。この雨は太平洋南岸に停滞した前線を小さな低気圧が通った折に振ったものである。	河川297ヶ所、砂防33ヶ所、道路373ヶ所、橋梁20ヶ所、治山75ヶ所、林道66ヶ所、鉄道218ヶ所、農地376ha、農業用施設265ヶ所、被害総額1,580,895千円
37. 7. 13	雷雨	松代町	雨量は、18時30分頃の約1時間で123mmとはげしいものであった。	死者1名、軽傷6名、住家全壊1戸、半壊8戸、床上浸水254戸、床下浸水1,631戸、非住家の被害254棟、治山77ヶ所、林道7ヶ所被害総額117,007千円
37. 7. 15	雷雨	東 信 (特 に 小 県 北 佐 久)	この雨は東部町地区で最も強く、赤津観測所では1時間72mmを記録した。	河川55ヶ所、砂防45ヶ所、道路80ヶ所、橋梁9ヶ所、治山149ヶ所、その他農作物等被害総額654,906千円
(1963) " 38. 6. 3 ~ 5	台風2号と梅雨前線による大雨	県下全域	台風2号の北上により梅雨前線の活動をうながした。 連続雨量 軽井沢 71mm 上田 82mm 長 野 59mm 大町 89mm 松 本 93mm 諏訪125mm 王 滝174mm 伊那133mm 飯 田 86mm 平岡113mm	死者1名、住家全壊1戸、床上浸水1戸、床下浸水101戸、河川449ヶ所、砂防72ヶ所、道路456ヶ所、橋梁15ヶ所、治山25ヶ所、林道49ヶ所、農業用施設等被害総額1,121,886千円
38. 7. 11	強雨	伊那谷と木曾谷北部	この西の中心域は木曾谷と伊那谷北部を結ぶ帯状の地域と見られ、日雨量80~150mmに達している。	死者10名、軽傷5名、住家全壊3戸、半壊1戸、床上浸水11戸、床下浸水58戸、非住家被害3棟、河川119ヶ所、砂防8ヶ所、道路53ヶ所、橋梁

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
				14ヶ所, 治山5ヶ所, 鉄道2ヶ所, 農地17.2ha, 農業用施設20ヶ所, 被害総額329,439千円
(1964) 昭和39. 9. 24 ~25	台風20号	県下全域	台風は九州南端に上陸し, 東北に進み東北地方南部を経て三陸沖に去った。 最大風速 長野WSW 11.8m/s 松本S 15m/s 飯田SSW 13.5m/s 諏訪S 15.8m/s 軽井沢WSW 10.8m/s 連続雨量 軽井沢 45.5mm 長野 52.2mm 松本 88.6mm 諏訪 95.1mm 飯田133.3mm	死者4名, 重傷3名, 軽傷1名, 住家全壊1戸, 半壊52戸, 一部損壊208戸, 床上浸水25戸, 床下浸水208戸, 非住家の被害93棟, 河川444ヶ所, 砂防28ヶ所, 道路201ヶ所, 橋梁48ヶ所, 治山47ヶ所, 林道105ヶ所, 学校63校, 水道10ヶ所, 鉄道3ヶ所, 電力30ヶ所, 通信166回線, 農地461ha, 農業用施設258ヶ所, 農作物の被害額398,902千円, 被害総額3,998,189千円
(1965) " 40. 5. 8	土砂くずれ	北安曇郡 小谷村	5. 2~3日の雨量 南小谷 69mm 北城 66mm	小谷村姫川支流浦川地域で8日夜約40万m <sup>3</sup> におよぶ土砂くずれがあり20万m <sup>3</sup> が姫川に押し出した, 長さ1km最深5mにわたり湛水した。大糸線不通, 滝川橋流失
40. 5. 20 ~21	大雨	県南部	雨量 平岡126mm 飯田 73mm 三岳 45mm	河川2ヶ所, 砂防1ヶ所, 道路11ヶ所, 農業用施設1ヶ所, 被害総額14,944千円
40. 5. 26 ~27	台風6号	県下全域	台風は房総半島に上陸し, 北東に進んで銚子の北30kmの海上に達した。 最大風速 長野W 11.7m/s 松本S 9.7m/s 諏訪WNW 8.8m/s 飯田S 4.3m/s 軽井沢NE 7.7m/s 雨量 長野 62.6mm 松本135.1mm 諏訪 93.5mm 飯田128.0mm 軽井沢106.4mm	死者8名, 重傷3名, 軽傷3名, 住家全壊7戸, 半壊1戸, 床上浸水25戸, 床下浸水450戸, 非住家の被害8棟, 河川352ヶ所, 砂防46ヶ所, 道路425ヶ所, 橋梁34ヶ所, 治山65ヶ所, 林道142ヶ所, 農地, 農業用施設415ヶ所, 農作物1,252ha, 被害総額1,323,914千円
40. 7. 1	雷雨	木曾郡南 木曾町, 飯田市	局地的に50~100mmの大雨が降った。 大平106mm 飯田 51mm	死者1名, 重傷1名, 軽傷1名, 住家全壊17戸, 半壊5戸, 床上浸水9戸, 床下浸水36戸, 河川24ヶ所, 砂防1ヶ所, 道路11ヶ所, 橋梁5ヶ所, 治山25ヶ所, 林道38ヶ所, 被害総額528,612千円
40. 7. 11 ~14	梅雨前線による大雨	県下全域	梅雨前線を低気圧が通過して県西部平地で100~150mm山岳部で200~300mmに達した。 和田103mm 南小谷132mm 安曇135mm 諏訪107mm	床上浸水27戸, 床下浸水308戸, 河川253ヶ所, 砂防13ヶ所, 道路237ヶ所, 橋梁19ヶ所, 治山40ヶ所, 林道56ヶ所, 農業関係被害148,962千円, その他被害総額1,558,824千円



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和40. 7. 17 ～18	梅雨前線による大雨	県北部 西部	王滝193mm 伊那182mm 大平173mm 奈良井197mm 雨量は平地で50mm山岳で100mmを越す程度であった。 長野 46mm 南小谷 98mm 北城150mm 安曇 80mm 王滝 92mm	前頁に含む
20 ～24	#	北アルプス山麓地方	雨量は平地で100mm山岳部で400mmに達した。 南小谷124mm 北城126mm 安曇129mm	
40. 8. 2	雷雨	上田市、埴科郡坂城町	上田市を中心に強い雨が降り、西上田で120mmの雨量を観測した。	住家半壊2戸、一部破損2戸、床上浸水74戸、床下浸水389戸、河川9ヶ所、砂防1ヶ所、道路4ヶ所、橋梁1ヶ所、治山6ヶ所、林道12ヶ所、農業用施設40ヶ所、農作物被害額5,594千円、被害総額104,768千円
40. 8. 3	地震	松代町一帯		松代群発地震が始まり、茶臼山の地すべりが活発となり、又各所の被害、地すべりの発生をみた。(9月17日松代町牧内地すべり、全かい11戸、9月25日松代町桐久保地すべり、10月9日松代町地すべり)(本文参照)
40. 9. 10	台風23号	県下全域	台風は高知県に上陸、瀬戸内海を横断して兵庫県を通り、佐渡の西を通過して北に去った。 雨量は県の南部や東部で多く100～180mmに達した。 王滝107mm 伊那 67mm 飯田 66mm 平岡149mm 最大風速 長野WSW 11.2m/s 松本SSE 15.5m/s 諏訪SSE 14.3m/s	死者1名、重傷1名、住宅全壊1戸、半壊14戸、一部破損487戸、床下浸水2戸、河川20ヶ所、砂防2ヶ所、道路13ヶ所、橋梁2ヶ所、その他農作物等 被害総額1,739,425千円
40. 9. 17 ～18	台風24号	県下全域	17日夕刻から本格的に風雨が強まり、全県下大雨となった。 最大風速 長野NNW 17.2m/s 松本NNW 9.5m/s 諏訪ESE 10.5m/s 飯田NE 11.7m/s 雨量 軽井沢102mm 上田109mm 長野 96mm 飯山101mm 大町120mm 松本 95mm 諏訪 70mm 王滝 70mm 伊那 55mm 飯田 99mm 平岡200mm	死者2名、住宅全壊32戸、半壊31戸、一部破損29戸、床上浸水265戸、床下浸水2,815戸、河川918ヶ所、砂防130ヶ所、道路511ヶ所、橋梁125ヶ所、治山152ヶ所、林道213ヶ所、農作物その他、被害総額4,102,675千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
(1966) 昭和41. 6. 24	大雨	木曾郡南木曾町	この雨は南木曾郡三留野周辺のせまい地域に短時間集中的に降った。三留野で5時から6時の1時間で105mmを記録した。	重傷1名、軽傷9名、住家全壊37戸、半壊24戸、床上浸水24戸、床下浸水63戸、非住家被害15棟、河川4ヶ所、砂防4ヶ所、道路10ヶ所、橋梁7ヶ所、治水8ヶ所、林道3ヶ所、農地その他、被害総額941,487千円 (本文参照)
41. 6. 27 ～28	台風4号	県中部、南部	この台風は、南海上から北上し、房総半島をかめすて東海上を千島方面に進んだ。県下の雨は南部東部に多く降った。 連続雨量 軽井沢105mm 上田 66mm 長野 55mm 飯山 77mm 大町 65mm 松本 58mm 諏訪 77mm 大桑101mm 伊那 79mm 飯田103mm 平岡166mm	天竜川、姫川、千曲川水系の河川氾らん、床上浸水49戸、河川383ヶ所、砂防127ヶ所、道路419ヶ所、橋梁11ヶ所、治山20ヶ所、林道35ヶ所、被害総額660,196千円
41. 7. 1 ～2	大雨	中南信	県の中南部で100mmを越えた。 諏訪 79mm 三岳 96mm 伊那 83mm 大平 84mm 平岡 97mm	床上浸水1戸、床下浸水278戸、河川57ヶ所、砂防2ヶ所、道路45ヶ所、橋梁3ヶ所、林道5ヶ所、被害総額126,358千円
41. 7. 7 ～8	"	県南部	県南部で多い所では200mmを越えた。 三岳157mm 伊那 78mm 飯田104mm 平岡162mm 平谷205mm	
41. 7. 11 ～12	"	安曇村	北アルプス山系を中心に100mm前後を雨が降った。 南小谷 97mm 大正池102mm	
41. 7. 14	雷雨	東筑摩郡筑北地方	14日20時頃坂井村坂北村付近に強い雷雨があった。四阿屋山で72mmを観測した。	
41. 7. 19	"	県東部	15時すぎから激しい雷雨となり、降雨量は30～50mmくらいであったが、きわめて短時間であった。	床上浸水27戸、床下浸水464戸、河川6ヶ所、道路1ヶ所、橋梁1ヶ所、被害総額5,420千円
41. 7. 22	"	諏訪地方	諏訪では19時37分から雨が降りだした。 1時間最大雨量 岡谷(釜口水門) 144mm 諏訪(中学) 87mm 川岸 69mm 夢の海 80mm 諏訪 39mm	
41. 9. 9 ～10	台風19号	下伊那郡阿南町	10日1時より9時まで台風圏内にはいり雨は9日夜から10日の朝までに西部の山沿いで80mm、南部で60mm前後となった。	河川118ヶ所、砂防72ヶ所、道路221ヶ所、橋梁4ヶ所、林道27ヶ所、被害総額417,295千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和41. 9. 18 ~19	大雨	東筑摩郡 南安曇郡	台風21号の影響で県下は17日より19日正午近くまで雨が降り続いた。 安曇 97mm 豊科 95mm 松本 75mm	前項を含む  千曲川、天竜川水系 床下浸水93戸、河川82ヶ所、砂防36ヶ所、道路84ヶ所、橋梁74ヶ所、治山8ヶ所、被害総額202,253千円
41. 9. 21	"	長野市 諏訪市	雨量 長野 60mm 西部の山系90mm前後	
41. 9. 24 ~25	台風26号	県下全域	台風は御前崎付近に上陸し、25日2時頃長野県東南部をかすめて、群馬県を通り三陸沖に抜けた。 雨は南東部と南信方面で70~80mmに達した 軽井沢 96mm 上田 64mm 長野 45mm 大町 57mm 松本 63mm 諏訪 94mm 王滝108mm 伊那 89mm 飯田 65mm 平岡105mm	
(1967) " 42. 6. 16	雷雨	小諸市附近	小諸市東部から御代田町にかけて16日19時前後から約2時間にわたって100mm前後の大雨となった。	死者2名、住宅全壊5戸、半壊3戸、床上浸水42戸、床下浸水681戸、河川47ヶ所、道路24ヶ所、橋梁7ヶ所、治山11ヶ所、林道31ヶ所、農業関係被害その他、被害総額1,730,121千円  床下浸水64戸、河川147ヶ所、砂防22ヶ所、道路266ヶ所、橋梁4ヶ所、治山14ヶ所、林道33ヶ所、被害総額292,802千円  木曾川、天竜川、千曲川3河川上流に被害が集中した。 死者4名、重傷4名、軽傷3名、住家全壊5戸、一部破損1戸、床上浸水387戸、床下浸水1,368戸、河川765ヶ所、砂防179ヶ所、道路410ヶ所、橋梁39ヶ所、治山58ヶ所、林道87ヶ所、農業関係被害その他、被害総額1,952,195千円  床上浸水4戸、床下浸水119戸、河川2ヶ所、砂防4ヶ所、道路27ヶ所、農作物その他 被害総額167,867千円
42. 6. 28 ~29	大雨	県南部	雨量 伊那 81mm 飯田123mm 平岡 81mm 三岳100mm 諏訪 64mm 松本 59mm 長野 51mm	
42. 7. 8 ~10	大雨	県中部、南部	台風7号が熱帯性低気圧となり長野県南部を通過した。 連続雨量 軽井沢 89mm 上田 83mm 長野 48mm 大町 58mm 松本100mm 諏訪147mm 王滝193mm 伊那151mm 飯田 82mm 平岡122mm	
42. 7. 18	雷雨	長野市 富士見町	雨量 富士見 66mm	
(1968) " 43. 6. 2	雷雨	県北部	県下の中部北部で強い雷雨があり、坂井村付近で93mm	河川6ヶ所、道路6ヶ所、橋梁1ヶ所、治山2ヶ所、農作物等 被害総額60,806千円  床下浸水17戸、河川38ヶ所、砂防9ヶ所、道路92ヶ所、橋梁6ヶ所、治山155ヶ所、林道54ヶ所 農作物の被害等 被害総額704,979千円
43. 6. 14	雷雨	県北部	雨量は飯山附近と、信州新町附近では、短時間70~100mmの集中豪雨となった。	

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和43. 6. 17 ~18	雷雨	県中部	東筑摩郡北部で短時間に80mm以上の集中豪雨があった。	死者1名、住宅全壊4戸、床上浸水19戸、床下浸水141戸、河川14ヶ所、砂防12ヶ所、道路34ヶ所、橋梁8ヶ所、治山76ヶ所、林道44ヶ所、その他被害総額1,369,520千円
43. 6. 28	雷雨	上水内郡 豊野町	豊野町を中心に30~80mmの集中豪雨があった。	床下浸水94戸、河川9ヶ所、砂防1ヶ所、道路20ヶ所、その他被害総額141,022千円
43. 7. 1	大雨	諏訪郡	諏訪附近に烈しい雷雨が発生一部で60mmを超える。	住家床上浸水4戸、床下浸水16戸、河川10ヶ所、道路19ヶ所、治山6ヶ所、林道20ヶ所、農地、農業用施設101ヶ所、農作物被害6,695千円、被害総額173,756千円
7. 2 ~3	大雨	県南部	台風に伴ない前線活動を盛んにさせ、南部では70~100mmに達する大雨であった。 大平 95mm 清内路 95mm 遠山109mm 平岡110mm	
7. 5 ~6	大雨	"	平岡で1時間25mm、南部の総雨量は70~100mmであった。	
8. 17 ~18	大雨	県南部	温帯低気圧化した台風7号の影響により、御岳山木曾谷を中心に諏訪方面にかけて70~180mmの豪雨があった。 王滝127mm 三岳127mm 蓼科 70mm 諏訪 67mm 辰野 74mm	
8. 25 ~30	台風10号と前線による大雨	伊那谷	瞬間最大風速 諏訪S 23.1m/s 飯田S 16.7m/s 松本S 22.8m/s 連続雨量 長野 64mm 松本107mm 飯田303mm 諏訪170mm 軽井沢144mm 上田132mm 三岳252mm 平岡453mm	死者6名、行方不明1人、重軽傷12人、家屋全かい28戸、半かい47戸、一部破損27戸、床上浸水134戸、床下浸水1,456戸、非住家34棟、河川1,310ヶ所、砂防237所、道路1,274ヶ所、橋梁117ヶ所、治山621ヶ所、林道346ヶ所、農地農業用施設1,500ヶ所、農作物被害422,195千円、被害総額7,282,743千円
(1969) " 44. 6. 25 ~26	梅雨前線による大雨	県南部	雨量御岳山251mm、阿南町190mm、伊那谷、木曾谷を中心に100mm前後の雨が降った。 王滝149mm 三岳131mm 伊那126mm 飯田 97mm 清内路179mm 遠山158mm 平岡214mm	住家半かい1戸、床上浸水3戸、床下浸水78戸、河川98ヶ所、砂防4ヶ所、道路137ヶ所、橋梁4ヶ所、治山58ヶ所、林道72ヶ所、農地農業用施設187ヶ所、農作物被害1,716千円、被害総額642,032千円
6. 29 ~30	"	"	雨量 長野 42mm 松本 42mm 諏訪 31mm 軽井沢 37mm 飯田 24mm 大平 88mm 平岡 77mm 三岳101mm 乗鞍岳201mm	河川6ヶ所、砂防4ヶ所、道路15ヶ所、治山3ヶ所、林道5ヶ所、農業用施設17ヶ所 被害総額128,743千円



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和44. 7. 5 ~ 6	"	飯山地方	飯山を中心に集中的に豪雨が あり、雨量100~200mmに達した。 飯山114mm 野沢温泉100mm	負傷者2名、住家全かい1戸、半 かい3戸、床上浸水40戸、床下浸水783 戸、治山80ヶ所、林道76ヶ所、農地 農業用施設820ヶ所、農作物被害 60,931千円、被害総額536,785千円
7. 8 ~ 9	"	北安曇地 方	雨量は多い所で60~80mm、山岳 では100mmを記録した。 安曇 76mm 御岳山134mm 乗鞍岳 82mm	河川331ヶ所、砂防15ヶ所、道路284 ヶ所、橋梁12ヶ所、治山4ヶ所、林 道35ヶ所、林道35ヶ所、農地農業用 施設59ヶ所、農作物被害1,775千円、 被害総額1,090,113千円
" 7. 20	雷 雨	長野市 埴科郡坂 城町附近	雨 量 長野 39mm 坂城 73mm	床上浸水65戸、床下浸水507戸、河川 4ヶ所、道路3ヶ所、林道5ヶ所、 被害総額22,098千円
7. 21	"	諏訪地方	雨 量 諏訪 63mm 時間雨量(20~21時) 47.5mm	
7. 25 7. 27	大 雨 雷 雨	" 長野市 東筑摩郡 坂北村附 近	雨 量 諏訪 49mm 下諏訪85mm 雨 量 長野市 54mm 坂北駅148mm (1時間最大85mm) 上高井郡東村 82mm	住家一部損かい2戸、床上浸水52戸、 床下浸水1,032戸、河川81ヶ所、砂防 15ヶ所、道路157ヶ所、橋梁10ヶ所、 治山24ヶ所、林道28ヶ所、農地農業 施設361ヶ所、農作物の被害99,133千 円、被害総額617,725千円
8. 4 ~ 5	台風7号	県南部	台風は伊勢湾をとおり、岐阜県 東濃地方から木曾谷南部より長 野県の南部を斜に横断した。 雨 量 松本 34.5mm 諏訪51.5mm 王滝 82.0mm 伊那 66.7mm 飯田143.5mm 平岡231.2mm	死者9名、行方不明6名、重軽傷者 11人、住家全かい10戸、半かい7戸、 一部損かい7戸、床上浸水32戸、床 下浸水489戸、河川432ヶ所、砂防30 ヶ所、道路428ヶ所、橋梁50ヶ所、 治山206ヶ所、林道145ヶ所、農地農 業用施設1,021ヶ所、農作物286,956 千円、被害総額4,006,760千円
8. 9	大 雨	県北部	雨 量 野沢温泉103mm 飯山 75mm	死者1名、行方不明2名、軽傷者2 名、家屋全かい5戸、半かい13戸、 一部破損2戸、床上浸水383戸、床下 浸水651戸、河川271ヶ所、砂防27ヶ 所、道路367ヶ所、橋梁30ヶ所、治山 97ヶ所、林道138ヶ所、農地農業用施 設527ヶ所、農作物232,926千円 被害総額4,894,592千円
8. 11	"	県西部	雨 量 南小谷136.0mm 大町 92.0mm 安曇 10.7mm 池田 98.7mm 松本 46.3mm 鬼無里150.3mm 長野 32.5mm	
8. 18 ~ 20	雷 雨	諏訪地方 信州新町 附近	下諏訪町 約 50mm 信州新町の信級地区53mm	住家全かい1戸、床上浸水5戸、床 下浸水40戸、河川15ヶ所、砂防1ヶ 所、道路34ヶ所、橋梁3ヶ所、治山 16ヶ所、農地農業用施設76ヶ所、農 作物8,656千円 被害総額284,756千 円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
(1970) 昭和45. 4. 18 ~28	大雨融雪	県下全域	南部では100~150mmの降雨があった。 北部では20mm前後であったが、融雪災害となった	河川14ヶ所、道路20ヶ所、橋梁1ヶ所、治山13ヶ所、林道10ヶ所、農地農業用施設33ヶ所 被害総額173,448千円
6. 5	雷雨	長野市	長野市1時間雨量55mm、既往第三位の強雨	死者1名、重軽傷者3名、家屋全かい7戸、半かい6戸、一部破損9戸、床上浸水22戸、床下浸水755戸、河川1,173ヶ所、砂防116ヶ所、道路1,587ヶ所、橋梁59ヶ所、治山264ヶ所、林道754ヶ所、林地43ヶ所、農地農業用施設1730ヶ所、農作物134,373千円 被害総額5,576,699千円
6. 14 ~16	大雨	県下全域 (県南部中心)	雨量 長野 85mm 上田106mm 三岳301mm 諏訪108mm 松本106mm 飯田370mm 軽井沢126mm 平岡322mm 南木曾426mm 飯島382mm	住家一部損かい5戸、床上浸水111戸、床下浸水2,232戸、河川24ヶ所、道路24ヶ所、林道62ヶ所、農地農業用施設16ヶ所、農作物39,098千円 被害総額107,657千円
8. 23 ~24	雷雨	長野市周辺 東筑摩郡北部	雨量 長野 23日1時間雨量 50.5mm 24日1時間雨量 59mm 坂北村付近 10分間雨量 20mm	河川41ヶ所、砂防7ヶ所、道路19ヶ所、農地農業用施設9ヶ所、被害総額69,398千円
9. 22 ~23	大雨	県西部	雨量 木曾谷150mm、上田市附近100mm前後の降水量となった。	
(1971) 46. 6. 11 ~12	梅雨前線豪雨	中信北信	雨量 飯山 95mm 新町87.5mm 姫川158mm 開田135mm 松本51.5mm	軽傷者2名、河川38ヶ所、道路72ヶ所、橋梁1ヶ所、砂防6ヶ所、農林関係被害42,264千円 被害総額323,931千円
7. 6 ~8	台風13号	下伊那上水内郡	雨量 飯田110.5mm 平岡139.0mm	床上浸水12戸、床下浸水191戸、河川51ヶ所、道路43ヶ所、橋梁1ヶ所、農林関係被害255,501千円 被害総額369,753千円
7. 16	小土山地すべり	小谷村		家屋全かい1戸、半かい1戸、床上浸水11戸、床下浸水2戸、農林関係その他被害額178,216千円、河川1ヶ所、道路2ヶ所、被害総額575,480千円
7. 25 ~27	梅雨前線豪雨	下伊那郡木曾北安曇上水内郡	雨量 飯山 83.5mm 姫川 85mm 大町 86mm 三留野186.5mm 飯田 87.5mm 平岡 36mm	家屋床上浸水1戸、床下浸水16戸、農業関係33,429千円、河川23ヶ所、道路82ヶ所、砂防1ヶ所 被害総額166,812千円
8. 30 ~9. 1	台風23号	県下全域	雨量 川上114mm 佐久98mm 和田 92mm 姫川 98mm 大町100.5mm 平岡168mm	農林関係被害100,216千円、河川38ヶ所、道路60ヶ所、砂防7ヶ所、被害総額343,838千円



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
昭和46. 9. 6 ~ 7	秋雨前線豪雨	県下全域	雨量 白田114mm 佐久137.5mm 上田128.5mm 信州新町132mm 大町120mm 松本185mm 木曾福島404.5mm 諏訪179mm 伊那107.5mm 平岡 95mm	重傷1名, 軽傷1名, 家屋全かい6戸, 半かい4戸, 一部損かい6戸, 床上浸水85戸, 床下浸水1,140戸, 非住家32棟, 農林関係その他被害1,932,266千円, 河川837ヶ所, 道路393ヶ所, 橋梁48ヶ所, 砂防54ヶ所, 被害総額6,933,382千円
47. 3. 18	地すべり	坂北村	—	死者4名, 農林その他22,000千円, 道路2ヶ所19,448千円
. 7. 9 ~13	47. 7豪雨	全 県 (特に諏訪 中南信)		死者5名, 重傷2名, 軽傷5名, 家屋全壊6戸, 半壊25戸, 一部損壊7戸, 床上浸水120戸, 床下浸水1,034戸, 農林関係その他被害2,373,334千円, 河川655ヶ所, 砂防41ヶ所, 道路654ヶ所, 橋梁27ヶ所, 被害総額2,827,549千円
47. 9. 16 ~17	台風第20号	全 県		家屋全壊4戸, 半壊45戸, 一部破損298戸, 床上浸水2戸, 床下浸水2戸, 農林関係その他被害2,844,501千円, 河川75ヶ所, 砂防14ヶ所, 道路141ヶ所, 橋梁14ヶ所, 被害総額770,894千円
" 48. 4. 7 ~12	融 雪	北安曇郡 上水内郡 下水内郡	雨量 小黒93mm 飯 島91mm 王滝79mm 清内路79mm	農林業その他被害額607,194千円
48. 4. 18	地すべり	鬼無里村 (荻の峯)	雨量 戸隠87mm 鬼無里77mm	農林業その他被害額868,259千円 砂防4ヶ所, 道路9ヶ所, 橋梁3ヶ所, 被害総額966,500千円
48. 6. 26 ~27	梅雨前線による大雨	南安曇郡 上下伊那	雨量 三岳113mm 飯田109mm 諏訪 79mm 松本 63mm	農林業その他被害額114,449千円, 河川66ヶ所, 砂防1ヶ所, 道路84ヶ所, 橋梁1ヶ所, 被害総額251,862千円
48. 7. 1 ~ 2	雷 雨	南安曇郡 上水内郡 上高井郡	雨量 長野 49mm 鬼無里57.5mm (時間最大39.5mm) 戸隠30.0mm	家屋半壊1戸, 床上浸水8戸, 床下浸水479戸, 農林業その他被害額181,251千円, 河川27ヶ所, 砂防7ヶ所, 道路76ヶ所, 被害総額182,427千円
" 49. 4. 17 ~21	融 雪	飯 山 市 栄 村 豊 田 村 小 谷 村 栄 村 野沢温泉村	雨量 飯山18mm 野沢温泉23mm 信州新町28mm 大町41mm	農林業その他被害額112,000千円 公共土木施設被害額464,314千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
8. 25 ～26	台風14号	県下全域	雨量 南信濃203mm 恵那山314mm 嵩 巢330mm 飯 田188mm	重傷1名, 家屋半壊5戸, 一部破損3戸, 床下浸水147戸, 農林業その他被害額315,936千円, 河川235ヶ所, 砂防15ヶ所, 道路216ヶ所, 橋梁8ヶ所, 被害総額1,053,722千円
8. 31 ～9. 1	台風16号	北佐久 南佐久 他	雨量 軽井沢136mm 茂来山100mm 初谷鉱泉347mm	床上浸水34戸, 床下浸水202戸, 農林業その他被害額1,227,785千円, 河川318ヶ所, 砂防4ヶ所, 道路133ヶ所, 橋梁28ヶ所, 被害総額2,450,190千円
49. 7. 4 ～15	台風8号 及び梅雨 前線による大雨	県下全域	雨量 程 野264mm 和 合153mm 南信濃138mm 三峰川130mm	死者2名, 家屋全壊1戸, 家屋半壊2戸, 一部破損1戸, 床上浸水5戸, 床下浸水349戸, 農林業その他被害額3,287,418千円, 河川271ヶ所, 砂防30ヶ所, 道路742ヶ所, 橋梁20ヶ所, 被害総額2,711,243千円
50. 6. 10	大雨降雹	波田町 南牧村 野沢温泉村 他	雨量 長野50mm	床上浸水1戸, 床下浸水131戸, 農林業その他被災額169,940千円, 河川11ヶ所, 砂防4ヶ所, 道路130ヶ所, 橋梁2ヶ所, 被害総額304,853千円
7. 3 ～13	梅雨前線 豪 雨	県下全域	雨量 御岳山988mm 南木曾627mm 宮田高原514mm 飯島376mm 須 原612mm 奈川345mm 奈良井351mm 白馬303mm 王 滝417mm	死亡2名, 軽傷2名, 家屋全壊2戸, 家屋半壊4戸, 一部損壊1戸, 床上浸水3戸, 床下浸水146戸, 濃林業その他被災額4,995,102千円, 河川697ヶ所, 砂防94ヶ所, 道路1,346ヶ所, 橋梁30ヶ所, 被害総額5,988,011千円
8. 22 ～23	台風6号	下伊那地方 他	雨量 御岳山311mm 螢巣213mm 播古木山234mm 宮田高原156mm 飯 島148mm 上高地147mm 飯 田137mm 須原135mm 野辺山106mm	家屋半壊1戸, 家屋損壊1戸, 床下浸水43戸, 農林業その他被害額493,607千円, 河川150ヶ所, 砂防6ヶ所, 道路215ヶ所, 橋梁10ヶ所, 被害総額1,110,495千円
51. 4. 30 ～5. 1	大 雨	松本市 上田市 丸子町 他	雨量 浪 合112mm 南信濃 75mm 清内路 70mm 王滝107mm 開 田137mm 伊那 57mm 安 曇 92mm 白馬 66mm 小 谷 76mm 鬼無里 69mm 戸 隠 78mm	農林業その他被害額227,994千円, 河川111ヶ所, 砂防14ヶ所, 道路45ヶ所, 橋梁4ヶ所, 被害総額499,900千円
7. 18 ～20	大雨降雹	飯山市 信濃町 山ノ内町 外	雨量 野沢温泉171mm 信濃町114mm 飯 山178mm 南小谷112mm 白 馬 79mm 長野 70mm 笠 岳102mm 信州新町 52mm 菅 平 63mm 上田 51mm	家屋半壊1戸, 床上浸水2戸, 床下浸水100戸, 農林業その他被害額555,908千円 河川167ヶ所, 砂防5ヶ所, 道路169ヶ所 橋梁1ヶ所, 被害総額718,510千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
7. 26 ~29	大雨	諏訪市 八坂村 小川村外	雨量 鬼無里111mm 大町 49mm 松本 62mm 高ボッチ72mm 諏訪 98mm 八ヶ岳112mm 松ヶ峰 66mm 須原 50mm 飯山 77mm	床上浸水15戸, 床下浸水183戸, 農林業その他被害額161,436千円, 河川108ヶ所, 砂防4ヶ所, 道路113ヶ所, 橋梁1ヶ所, 被害総額581,726千円
8. 14 ~15	大雨	大町市 小谷村 豊田村外	雨量 野沢温泉26mm 飯山152mm 信濃町148mm 南小谷167mm 白馬173mm 大町 87mm 長野 54mm	家屋損壊1戸, 床上浸水1戸, 床下浸水2戸, 農林業その他被害額98,195千円, 河川40ヶ所, 砂防2ヶ所, 道路72ヶ所, 橋梁2ヶ所, 被害総額362,280千円
51. 9. 8 ~14	台風17号	県下全域	雨量 野沢温泉112mm 飯山110mm 長野135mm 南小谷175mm 白馬198mm 大町177mm 松本178mm 諏訪158mm 奈良井214mm 木曾福島269mm 南木曾256mm 飯田193mm 浪合294mm 恵那395mm	床上浸水2戸, 床下浸水121戸, 農林業その他被災額1,627,507千円, 河川369ヶ所, 砂防34ヶ所, 道路719ヶ所, 橋梁16ヶ所, 被害総額3,108,316千円
52. 6. 23 ~25	梅雨前線豪雨	飯田市 駒ヶ根市 南木曾町外	雨量 飯田103mm 高遠 89mm 木曾福島82mm 南木曾107mm 大鹿107mm 南信濃 95mm 宮田高原127mm 摺古木山126mm 飯島160mm 恵那山153mm	農林業その他被害額199,622千円, 河川88ヶ所, 砂防1ヶ所, 道路136ヶ所, 橋梁1ヶ所, 被害総額531,233千円
52. 7. 26	大雨降雹	上田市 東部町 伊那市外	雨量 松本 26mm 諏訪 22mm 南木曾 30mm 東部町 79mm 伊那 25mm	家屋半壊2戸, 床上浸水176戸, 農林業その他被災額228,757千円, 河川64ヶ所, 砂防10ヶ所, 道路22ヶ所, 被害総額355,387千円
52. 8. 16 ~18	大雨	飯田市 阿南町 南牧村外	雨量 飯田市115mm 佐久 57mm 八千穂 60mm 野辺山103mm 南木曾 99mm 大鹿116mm 南信濃151mm 飯島100mm	農林業その他被災額165,293千円, 河川33ヶ所, 砂防2ヶ所, 道路90ヶ所, 橋梁1ヶ所, 被害総額354,973千円
53. 4. 13 ~14	融雪雪崩	鬼無里村 白馬村	全般に5mmから1mm多い所で17mm	農林業その他被害額62,000千円, 砂防1ヶ所, 道路8ヶ所, 被害総額261,800千円
6. 19 ~30	梅雨前線豪雨	全県	雨量 長野114mm 松本147mm 飯田197mm 諏訪217mm 白馬474mm 碓氷329mm 檜川326mm 南木曾303mm 木曾福島294mm 飯島247mm 大町248mm 鬼無里228mm	床下浸水158戸, 農林業その他被害額1,901,373千円, 河川259ヶ所, 砂防10ヶ所, 道路273ヶ所, 橋梁10ヶ所, 被害総額4,339,203千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
53. 9. 3 ~ 6	豪雨	信州新町 小川村 中条村 鬼無里村	雨量 長野 60mm 諏訪 73mm 軽井沢 73mm 須原169mm 木曾福島145mm 南木曾145mm 高遠141mm 原村127mm 伊那109mm	床下浸水46戸，農林業その他被害額261,550千円，河川59ヶ所，砂防7ヶ所，道路77ヶ所，橋梁1ヶ所，被害総額925,247千円
10. 27 ~ 29	豪雨	伊那市 諏訪市 南木曾町 外	雨量 長野 62mm 松本 78mm 飯田101mm 諏訪142mm 軽井沢 83mm 楢川210mm 飯島176mm 須原166mm 南木曾163 大鹿155mm	農林業その他被災額24,000千円，河川22ヶ所，道路20ヶ所，橋梁1ヶ所，被害総額206,080千円
54. 5. 7 ~ 9	豪雨 地すべり	上下伊那 木曾松筑 南安曇	雨量 南信濃101mm 阿南132mm 浪合121mm 飯田 71mm 須原 72mm 木曾福島72mm 開田 95mm 楢川 62mm 奈川 92mm	死者1名，軽傷8名，一部損壊1戸，農林業その他被害額169,430千円，河川13ヶ所，道路97ヶ所，橋梁1ヶ所，被害総額470,770千円
6. 2 ~ 4	豪雨降雹	南北佐久 上小 上伊那 木曾 松筑 長野 埴科	雨量 長野 38mm 信州新町35mm 軽井沢 35mm 佐久 30mm 楢川 32mm 須原 31mm 恵那山 34mm	軽傷2名，全壊家屋1戸，半壊家屋1戸，床上浸水7戸，床下浸水144戸，農林業その他被害額1,154,622千円，河川51ヶ所，道路34ヶ所，被害総額1,525,452千円
6. 27 ~ 7. 2	梅雨前線	県全域 (除，南佐久 北佐久， 上高井， 長野)	雨量 野沢温泉222mm 飯山150mm 信濃町129mm 南小谷240mm 白馬205mm 鬼無里139mm 軽井沢157mm 諏訪142mm 楢川295mm 須原401mm 南木曾466mm 飯田275mm 浪合455mm 阿南247mm 南信濃313mm	家屋損壊1戸，床上浸水1戸，床下浸水8戸，農林業その他被害額1,101,471千円，河川178ヶ所，砂防10ヶ所，道路214ヶ所，橋梁4ヶ所，被害総額2,474,681千円
8. 20 ~ 25	豪雨	県全域 (除，埴科)	雨量 野沢温泉196mm 飯山164mm 信濃町161mm 長野128mm 南小谷215mm 鬼無里184mm 白馬269mm 松本120mm 宮田高原217mm 木曾福島154mm 須原165mm 南木曾170mm 飯島143mm 飯田 84mm 浪合114mm	死者3名，負傷2名，床上浸水4戸，床下浸水34戸，農林業その他被害額374,196千円，河川76ヶ所，砂防5ヶ所，道路118ヶ所，橋梁2ヶ所，被害総額7,203,176千円



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
54. 10. 18 ~19	台風20号	南北佐久 上下伊那 諏訪 北安曇 埴科 上高井 長野	雨量 御岳山200mm 浪合187mm 燕岳140mm 阿南139mm 南信濃138mm 上高井132mm 野辺山120mm 開田114mm 奈川108mm 大町102mm	農林業その他被害額263,125千円, 河川82ヶ所, 砂防2ヶ所, 道路145ヶ所, 橋梁5ヶ所, 被害総額1,756,995千円
10. 28	御岳山の噴火			28日6時頃噴火を確認 噴煙は4,000~5,000m上空に吹き上げ長野, 野沢温泉, 諏訪, 前橋で降灰が確認された 被害総額9,758千円
55. 5. 15 ~16	豪雨	木曾 上伊那 上小 諏訪	雨量 須原116mm 奈川107mm 辰野104mm 木曾福島101mm 開田97mm 浪合87mm 飯島81mm 南木曾71mm 奈川74mm	床下浸水16戸, 農林業その他被害額192,007千円, 河川143ヶ所, 砂防5ヶ所, 道路59ヶ所, 橋梁6ヶ所, 被害総額1,503,335千円
7. 6 ~8	梅雨前線豪雨	諏訪 上, 下伊那 木曾 南北佐久 松筑 下高井 長野	雨量 諏訪103mm 松峰106mm 辰野101mm 御岳山104mm 宮田高原97mm 榑川79mm	家屋損壊1戸, 床上浸水43戸, 床下浸水356戸, 農林業その他被害額1,570,626千円, 河川414ヶ所, 砂防84ヶ所, 道路329ヶ所, 橋梁11ヶ所, 被害総額3,557,450千円
7. 23 ~25	豪雨	木曾 上伊那	雨量 榑川47mm 御岳山99mm 木曾福島54mm 須原122mm 笹山55mm 浪合92mm 高遠63mm 宮田高原105mm	農林業その他被害額260,600千円, 河川16ヶ所, 砂防1ヶ所, 道路9ヶ所, 被害総額256,200千円
8. 25 ~27	豪雨	上下伊那	雨量 宮田高原100mm 飯島97mm 飯田89mm 浪合132mm 南信濃100mm 阿南101mm 木曾福島111mm 南木曾82mm	農林業その他被害額213,093千円, 河川47ヶ所, 橋梁1ヶ所, 道路175ヶ所, 被害総額470,050千円
10. 19 ~20	豪雨 地すべり	下伊那 諏訪 木曾 長野	雨量 浪合173mm 阿南123mm 南信濃122mm 飯田115mm 飯島157mm 須原149mm 辰野108mm 諏訪117mm 長野50mm	農林業その他被害額97,044千円, 河川8ヶ所, 砂防12ヶ所, 道路97ヶ所, 被害総額340,720千円
56. 6. 23 ~27	地すべり	松筑 南北安曇	雨量 松本39mm 穂高49mm 上高地201mm 大町62mm 白馬81mm 南小谷77mm 鬼無里66mm 信州新町49mm	農林業その他被害額20,000千円, 河川, 砂防, 道路, 橋梁, 被害総額1,003,500千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
7. 2 ～4	豪雨	全県	雨量 野沢温泉108mm 飯山 84mm 長野 93mm 鬼無里122mm 南小谷119mm 白馬146mm 大町116mm 上田 72mm 軽井沢109mm 諏訪144mm 辰野 94mm 宮田高原175mm 飯島 99mm 飯田 95mm 浪合162mm 木曾福島112mm 南木曾231mm	家屋全壊2戸、一部損壊1戸、床上浸水1戸、床下浸水1戸、農林業その他被害額2,412,157千円、河川、砂防、道路、橋梁、被害総額3,447,561千円
7. 18 ～21	豪雨	下、上伊那 諏訪 木曾 松筑 埴科 下高井	雨量 長野 40mm 松本144mm 諏訪 95mm 碓氷 53mm 南木曾124mm 飯田 42mm 浪合 64mm	家屋破損2戸、床上浸水84戸、床下浸水1,388戸、農林業その他被害額1,430,430千円、河川、砂防、道路、橋梁、被害総額1,539,535千円
8. 22 ～23	台風15号	全県 (南信を除く)	須坂市仁礼では23日午前6時頃 宇原川、鮎川一帯で鉄砲水発生、 松代町では23日午前5時蛇川、 藤沢川がはんらん山ノ内町では 夜間瀬川はんらん 雨量 長野117.5mm 松本 82mm 軽井沢198.5mm 野沢温泉119mm 飯山 99mm 大町112mm 信州新町120mm 菅平169mm 上田121mm 立科152mm 野辺山128mm 南信濃134mm 南小谷139mm 笹岳234mm 松ヶ峰311mm	死者11名、重傷3名、軽傷20名、全壊家屋10戸、半壊家屋20戸、一部損壊57戸、床上浸水582戸、床下浸水2,245戸、農林業その他被害額14,088,744千円、河川2,051ヶ所、砂防140ヶ所、道路838ヶ所、橋梁102ヶ所、被害総額24,217,934千円
57. 6. 2 ～3	豪雨	上小 下伊那 木曾 松筑 長野	雨量(6月3日の1時間最大) 原村 23mm 御岳山 22mm 奈川 16mm 開田 20mm 檜川 22mm 辰野 14mm 木曾福島 22mm	床下浸水48戸、農林業その他被害額377,000千円、河川、砂防、道路、橋梁、被害総額772,000千円
7. 9 ～10	豪雨	諏訪 松筑 北安曇 下高井 長野 下水内	雨量 諏訪 □mm 松本 □mm 南小谷 □mm 白馬 □mm 山ノ内 □mm 長野 □mm 飯山 □mm	家屋一部損壊1戸、床上浸水1戸、床下浸水52戸、農林業その他被害額273,325千円、河川、砂防、道路、橋梁、被害総額346,950千円
7. 21 ～28	梅雨前線 豪雨	南佐久 諏訪 下伊那 木曾 北安曇 埴科 長野	雨量 野辺山 □mm 諏訪 □mm 浪合 □mm 阿南 □mm 木曾福島 □mm 須原 □mm 南木曾 □mm 長野 □mm	床上浸水4戸、床下浸水257戸、農林業その他被害額333,660千円、河川、砂防、道路、橋梁、被害総額934,800千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区 域	気 象 状 況	災 害 状 況
8. 1 ～ 3	台風10号と梅雨前線及び、低気圧による豪雨	県下全域	雨 量 南信濃406mm 阿南313mm 浪 合328mm 長野35.5mm 松 本66.5mm 飯田146.5mm 諏 訪134.5mm 軽井沢217.5mm 原 村180mm 南木曾175mm 鬼無里100mm	死者4名、重傷4名、軽傷13名、全壊家屋23戸、半壊家屋44戸、一部損壊580戸、床上浸水80戸、床下浸水1,384戸、農林業その他被害額45,651,323千円 河川、砂防、道路、橋梁、被害総額40,027,344千円
8. 7 ～	地すべり	小 諸	小諸市から富士見平にかけて今年3月頃より地すべりが発生8月中旬には東部町の一部を含め17haに拡大	全壊家屋1戸、半壊家屋6戸、一部損壊16戸、被害総額84,600千円
57. 9. 11 ～ 13	台風18号	県下全域	雨 量 野沢温泉201mm 信濃町180mm 飯 山153mm 南小谷160mm 鬼無里172mm 長野145mm 信州新町167mm 大町155mm 菅 平184mm 上田151mm 東 部179mm 軽井沢224mm 松 本180mm 立科197mm 佐 久218mm 諏訪178mm 辰 野172mm 木曾福島196mm 高 遠197mm 須原165mm 飯 島167mm 飯田155mm	死者2名、傷者27名、全壊家屋3戸、半壊家屋13戸、一部損壊13戸、床上浸水2,022戸、床下浸水3,214戸、農林業その他被害額25,518,355千円、河川、砂防、道路、橋梁、被害総額29,886,980千円
58. 5. 15 ～ 17	豪 雨	県下全域 (上高井、埴科を除く)	雨 量 浪 合240mm 飯島235mm 阿 南191mm 南木曾196mm 木曾福島186mm 開田184mm 埴 川168mm 奈川180mm 高 遠140mm 原村130mm 飯 田105mm 諏訪105mm 松 本 93mm	家屋一部損壊3戸、床上浸水5戸、床下浸水91戸、農林業その他被害額4,167,166千円、河川、砂防、道路、橋梁、被害総額5,039,530千円
7. 23 ～ 26	梅雨前線豪 雨	上 小 筑 松 筑 下 伊 那 木 曾 南北安曇 上、下高井 長 野 下 水 内	雨 量 野沢温泉104mm 南小谷130mm 白 馬146mm 長野 49mm 上高地197mm 木曾福島82mm 須 原109mm 南木曾154mm	死者1名、重傷1名、軽傷1名、床下浸水36戸、農林業その他被害額1,280,140千円、河川、道路、砂防、橋梁、被害総額3,205,937千円
8. 16 ～ 17	台風5号	南北佐久 上 小 筑 諏 訪 上下伊那 木 曾 埴 科 上 高 井 長 野	雨 量 野沢温泉 81mm 飯山 87mm 大 町107mm 軽井沢199mm 鹿教湯111mm 立科124mm 佐 久127mm 野辺山181mm 須 原 73mm 南木曾111mm 大 鹿130mm 浪合212mm 阿 南162mm 南信濃215mm	軽傷1名、一部損壊1戸、床下浸水163戸、農林業その他被害額549,893千円、河川、砂防、道路、橋梁、被害総額3,556,920千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
9. 28 ～29	台風10号	県下全域	雨量 野沢温泉135mm 飯山133mm 白馬174mm 長野132mm 大町175mm 菅平171mm 上田177mm 軽井沢138mm 松本197mm 立科175mm 佐久167mm 奈川289mm 諏訪215mm 開田207mm 木曾福島241mm 辰野181mm 高遠244mm 須原313mm 飯島415mm 飯田282mm 浪合310mm	死者9名, 傷者44名, 農林業その他被害額65,644,471千円, 河川, 砂防, 道路, 橋梁, 被害総額89,044,798千円
59. 5. 1 ～2	豪雨	美麻村 大岡村	雨量 白馬71mm 大町61mm 鬼無里66mm 長野30mm	林業被害額2,819千円, 公共土木施設被害額254,700千円
6. 25 ～27	梅雨前線 豪雨	全県	雨量 白馬107mm 長野41mm 大町94mm 燕岳144mm 軽井沢99mm 上高地202mm 松本69mm 奈川118mm 諏訪99mm 開田82mm 檜川112mm 辰野121mm 原村83mm 野辺山92mm 御岳206mm 木曾福島103mm 高遠86mm 入笠山94mm 宮田高原202mm 杉島94mm 須原218mm 南木曾204mm 飯島112mm 大鹿115mm 摺古木山171mm 飯田69mm 網掛山137mm 浪合157mm 阿南140mm 南信濃122mm	半壊1戸, 床下浸水19戸, 農林関係その他被害額1,186,100千円, 公共土木施設被害額515,468千円, 被害総額1,701,568千円
7. 5 ～8	梅雨前線 豪雨	北部中部	雨量 野沢温泉81mm 飯山68mm 小谷88mm 白馬95mm 鬼無里50mm 長野68mm 大町50mm 聖高原78mm 上田68mm 燕岳65mm 上高地162mm 松本14mm 奈川47mm 諏訪23mm 開田36mm 御岳山116mm 木曾福島31mm	床上浸水6戸, 床下浸水204戸, 農林関係被害額156,154千円, 公共土木施設被害額640,670千円, 被害総額756,824千円
59. 7. 18 ～26	59. 7豪雨	全県	雨量 鹿教湯108mm (1時間45mm) 信濃町75mm 鬼無里64mm 十石峠66mm	全壊1戸, 一部破損1戸, 床上浸水13戸, 床下浸水108戸, 農林関係その他被害額2,765,542千円, 公共土木施設被害額3,659,260千円, 被害総額6,424,802千円



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
59. 8. 1 ～ 8	雷雨	全 県	雨 量 鬼無里56mm 大町 37mm 菅 平 27mm 上田 17mm 東部町 79mm 軽井沢116mm 松 本 34mm 鹿教湯 43mm 立 科 27mm 辰野113mm 原 村 49mm 野辺山 42mm 木曾福島 26mm 高遠 58mm 須 原107mm 飯田 72mm 南信濃 83mm	床上浸水2戸, 床下浸水97戸, 農林関係その他被害額1,371,593千円, 公共土木施設被害額211,100千円, 被害総額1,582,693千円
9. 14	西部地震	王 滝 村	震央北緯35°49.2' 東経137°36.6' 震源発震時8時48分49.4秒 深さ2 km マグニチュード6.8 各地の震度 震度3長野, 松本 震度2軽井沢	死者29名, 重傷3名, 軽傷7名, 全壊流出14戸, 半壊73戸, 一部破損517戸, 農林関係その他被害額13,375,998千円, 公共土木施設被害額12,071,200千円, 被害総額25,447,158千円
60. 5. 19 ～21	豪 雨	上下伊那 木 曾	雨 量 開 田 86mm 檜川 69mm 木曾福島66mm 須原138mm 南木曾133mm 摺古木山148mm 辰 野 58mm 高遠 38mm 杉 島 51mm 宮田高原138mm 飯 島120mm 大鹿117mm 飯 田 93mm 網掛山135mm 浪 合183mm 南信濃 88mm 阿 南109mm	農林業関係被害額185,900千円, 公共土木施設被害額441,363千円, 被害総額627,263千円
6. 24 ～29	梅雨前線 豪 雨	全 県	雨 量 野沢温泉67mm 飯山 68mm 長 野102mm 南小谷 88mm 白 馬108mm 大町 89mm 松 本 49mm 上高地135mm 上 田 49mm 軽井沢 64mm 諏 訪 70mm 御岳山117mm 木曾福島90mm 南木曾184mm 宮田高原187mm 飯島126mm 飯 田144mm 大鹿190mm 浪 合202mm 南信濃143mm 阿 南139mm	一部破損1戸, 床下浸水28戸, 農林業関係その他被害額1,488,053千円, 公共土木施設被害3,866,810千円, 被害総額5,354,863千円
6. 29 ～7. 1	台風6号	全 県	雨 量 野沢温泉151mm 飯山107mm 長 野102mm 南小谷142mm 白 馬167mm 大町145mm 松 本123mm 上高地182mm 上 田156mm 軽井沢164mm 諏 訪198mm 御岳山383mm	死者一名, 全壊1戸, 半壊8戸, 一部破損6戸, 床上浸水57戸, 床下浸水514戸, 農林業関係その他被害額15,816,856千円, 公共土木施設被害額23,573,330千円, 被害総額39,390,186千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
60, 7. 4 ~14	梅雨前線豪雨	全 県	<p>木曾福島249mm 南木曾290mm 宮田高原253mm 飯島256mm 飯 田221mm 大鹿236mm 浪 合319mm 南信濃240mm 阿 南229mm</p> <p>雨 量</p> <p>野沢温泉272mm 飯山253mm 長 野159mm 南小谷466mm 白 馬544mm 大町261mm 松 本 91mm 上高地540mm 上 田 86mm 軽井沢93mm 諏 訪146mm 御岳山742mm 木曾福島273mm 南木曾572mm 宮田高原506mm 飯島384mm 飯 田324mm 大鹿332mm 浪 合339mm 南信濃141mm 阿 南142mm</p>	死者3名, 全壊1戸, 半壊2戸, 一部破損6戸, 床上浸水1戸, 床下浸水198戸, 農林業関係その他被害額5,122,012千円, 公共土木施設被害6,019,000千円, 被害総額11,141,012千円
60, 7. 19 ~22	雷 雨	全 県	<p>雨 量 (1時間最大)</p> <p>信濃町 46mm 檜川 27mm 長 野 24mm 辰野 26mm 信州新町 48mm 須原 46mm 軽井沢 24mm 大鹿 26mm 南信濃 35mm 浪合 27mm</p>	死者2名, 負傷者6名, 全壊2戸, 半壊2戸, 一部破損6戸, 床上浸水76戸, 床下浸水597戸, 農林業関係その他被害額5,540,662千円, 公共土木施設被害額2,234,120千円, 被害総額7,774,782千円
60, 7. 26	地附山地すべり	長野市	<p>横450m 縦700m深さ30~60m 流出土砂約500万m<sup>3</sup></p>	死者26名, 負傷者4名, 全壊55戸, 半壊5戸, 一部破損9戸, 農林業関係その他被害額2,362,871千円, 公共土木施設被害額690,900千円, 被害総額3,053,771千円
61, 7. 10 ~15	梅雨前線豪雨	北佐久 諏訪 上伊那 木曾 松本 長野	<p>雨 量</p> <p>軽井沢64mm 佐久50mm 諏 訪132mm 八ヶ岳177mm 辰 野200mm 宮田高原371mm 木曾福島228mm 松本52mm 南木曾447mm 上高地311mm 長 野 60mm</p>	床上浸水1戸, 床下浸水27戸, 農林業関係その他被害額1,886,077千円, 公共土木施設被害額1,569,350千円, 被害総額3,455,427千円
7. 29 ~8. 2	豪 雨	全 県	<p>雨 量</p> <p>上 田 19mm 東部町 35mm 鹿教湯 25mm 立科 57mm 入笠山 26mm 杉島 31mm 大 鹿 22mm 浪合 14mm 南信濃 15mm</p>	床上浸水2戸, 床下浸水41戸, 農林業関係被害額1,731,130千円 公共土木施設被害238,200千円 被害総額1,969,330千円
61, 8. 4	台風第10号	下伊那	<p>雨 量</p> <p>飯 田 58mm 恵那山 58mm 浪 合 71mm 笹山 85mm 南信濃104mm 阿南104mm</p>	公共土木施設被害323,860千円 被害総額323,860千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
8. 17	豪雨	全 県	雨量 長野 27mm 大町 60mm 松本 36mm 鹿教湯 24mm 辰野 27mm 木曾福島63mm 南木曾 64mm 飯島 55mm 大鹿135mm 飯田 81mm 浪合 39mm	床下浸水14戸, 農業関係被害額177,000千円, 公共土木施設被害額306,375千円, 被害総額483,375千円
8. 27 ~31	豪雨	長野 下伊那		床下浸水4戸, 農林業関係その他被害額770,500千円, 公共土木施設被害額611,080千円, 被害総額1,381,580千円
9. 2 ~3	台風第15号	全 県	雨量 野沢温泉118mm 飯山162mm 長野 68mm 笠岳244mm 菅平100mm 上田 76mm 東部町100mm 軽井沢148mm 佐久102mm 八ヶ岳109mm 野辺山102mm 入笠山 55mm	床上浸水41戸, 床下浸水535戸, 農林業関係その他被害額2,646,448千円, 公共土木施設被害額10,129,300千円, 被害総額12,775,748千円
62. 4. 21 ~23	林野火災	更埴市 高遠町 上田市 真田町	更埴市桑原地区 発生 4月2日9:38 鎮火 4月8日16:30 上田市住吉地区 発生 4月21日20:20 鎮火上田市 4月22日17:00 鎮火真田町 4月23日9:20 上田市下文郷地区 発生 4月21日22:20 鎮火 4月22日17:09 高遠町長藤地区 発生 4月21日11:30 鎮火 4月21日17:49	民家1戸, 農業ハウス6戸, 林野285.7ha, 治山被害額680,000千円, その他被害額397,144千円, 被害総額1,077,144千円
5. 13 ~14	豪雨	上伊那 下伊那 木曾	雨量 辰野 82mm 宮田高原108mm 高遠 87mm 飯島135mm 開田 96mm 木曾福島112mm 南木曾163mm 飯田100mm 浪号197mm 南信濃102mm 阿南127mm	農林業関係その他被害額500,881千円, 公共土木施設被害額467,690千円, 被害総額968,571千円
7. 14 ~20	梅雨前線豪雨	全 県	雨量 野沢温泉 34mm 飯山36mm 長野 24mm 南小谷 24mm 白馬 17mm 大町 24mm 松本 43mm 上高地111mm 上田 30mm 軽井沢 61mm 諏訪 83mm 御岳山369mm	床下浸水39戸, 農林業関係被害額1,396,689千円, 公共土木施設被害額832,360千円, 被害総額2,229,049千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
8. 9 ～19	雷雨	南佐久 北佐久 上小 諏訪 北安曇 長野	<p>木曾福島157mm 南木曾274mm 宮田高原176mm 飯島131mm 飯田102mm 大鹿106mm 浪合216mm 南信濃163mm 阿南173mm</p> <p>雨量</p> <p>長野 29mm 信州新町25mm 菅平 43mm 上田 57mm 軽井沢 21mm 軽井沢 35mm 佐久 75mm 原村 19mm 南小谷 29mm 白馬 mm</p>	床上浸水6戸, 床下浸水180戸, 農林業関係その他被害額1,306,366千円, 公共土木施設被害412,640千円 被害総額1,718,406千円, 被害総額1,718,406千円
9. 10 ～11	豪雨	全 県	<p>雨量</p> <p>長野 24mm 鬼無里 80mm 菅平 37mm 上田 18mm 軽井沢 34mm 佐久104mm 野辺山 22mm 諏訪 75mm 原村 94mm 八ヶ岳 40mm 松本 12mm 摺古木山17mm 南木曾 82mm</p>	床上浸水30戸, 床下浸水444戸, 農林業関係その他被害額487,946千円, 公共土木施設被害1,171,350千円, 被害総額1,659,296千円
63. 6. 1 ～5	豪雨	全 県	<p>雨量</p> <p>野沢温泉72mm 飯山 72mm 木曾福島172mm 長野 72mm 南木曾141 南小谷 95mm 宮田高原175mm 白馬115mm 飯島186mm 大町119mm 飯田127mm 松本138mm 大鹿125mm 浪合226mm 上田 84mm 南信濃142mm 軽井沢 71mm 阿南152mm 諏訪 86mm</p>	全壊1戸, 床下浸水3戸, 農林業関係その他被害額2,440,577千円, 公共土木施設被害額1,684,709千円, 被害総額7,589,397千円
6. 27 ～29	大雨	諏訪 下伊那 松本 北安曇 長野	<p>雨量</p> <p>佐久 78mm 松本108mm 八ヶ岳138mm 大町165mm 諏訪125mm 長野 47mm 飯田156mm 信州新町86mm 南信濃122mm 鬼無里180mm 南木曾178mm 信濃町63mm 飯山 51mm</p>	一部破損1戸, 床下浸水4戸, 農林業関係その他被害額809,990千円, 公共土木施設被害額363,240千円, 被害総額1,173,230千円



災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
63. 8. 17 ~18	雷雨	長野 上小 下高井 北安曇 上伊那 松本	雨量 南木曾 19mm 南小谷 28mm 白馬 82mm 大町 64mm 高遠 36mm	全壊(全焼) 1戸, 床上浸水 8戸, 床下浸水 256戸, 農林業関係被害額 550,338千円, 公共土木施設被害額 542,000千円, 被害総額 1,092,338千 円
9. 2	豪雨	長野	雨量 信濃町 10mm 鬼無里 19mm 長野 14mm 大町 42mm 信州新町 11mm	農業関係被害額 89,000千円, 公共土 木施設被害 215,540千円, 被害総額 304,540千円
9. 5 ~6	豪雨	諏訪 諏訪 木曾	雨量 諏訪 99mm 原村 64mm 八ヶ岳 70mm 開田 108mm 御岳山 163mm 木曾福島 92mm 須原 71mm 南木曾 79mm	床下浸水 1戸, 林業関係被害額 691,019千円, 公共土木施設被害 622,500円, 被害総額 1,313,519千円
9. 8	豪雨	上小 南佐久 北佐久 諏訪	雨量 諏訪 34mm 八ヶ岳 21mm 高ボッチ 23mm 菅平 15mm 上田 26mm 東部町 9mm 軽井沢 16mm 鹿教湯 33mm 立科 26mm 佐久 28mm	重傷 1名, 軽傷 1名, 半壊 1戸, 床 上浸水 23戸, 床下浸水 179戸, 農林業 関係その他被害額 306,692千円, 公共 土木施設被害額 891,400千円, 被害総 額 1,198,092千円
9. 11 ~12	豪雨	下伊那 松本	雨量 松本 38mm 燕岳 143mm 上高地 124mm 高ボッチ 54mm 綱掛山 74mm 浪合 75mm 阿南 113mm 南信濃 103mm	農業関係被害額 128,000千円, 公共土 木施設被害額 287,640千円, 被害総額 415,640千円
9. 24 ~25	秋雨前線 豪雨	全県	雨量 長野 74mm 松本 104mm 上田 77mm 軽井沢 86mm 諏訪 188mm 開田 154mm 飯島 263mm 南木曾 230mm	軽傷 1名, 全壊 1戸, 一部破損 5戸, 床上浸水 1戸, 床下浸水 25戸, 農林 業関係その他被害額 5,450,970千円, 公共土木施設被害額 3,828,188千円, 被害総額 9,279,158千円
平成元. 6. 22 ~24	梅雨前線 豪雨	県下全域	雨量 御岳山 216mm 浪合 170mm 宮田高原 140mm 入笠山 141mm	農業関係被害額 69,000千円, 林業関 係被害額 2,022,504千円, 公共土木施 設被害額 311,760千円, 被害総額 2,403,264千円
7. 9 ~10	梅雨前線 豪雨	県下全域	雨量 御岳山 256mm 木曾福島 158mm 高遠 98mm 宮田高原 246mm 須原 192mm 南木曾 133mm 諏訪 97mm 開田 104mm	農業関係被害額 226,000千円, 林業関 係被害額 1,923,766千円, 公共土木施 設被害額 1,483,850千円, 被害総額 3,633,616千円

災害発生年月日	災害名称	災害発生区域	気象状況	災害状況
元. 8. 16 ~17	雷雨	上小長野	雨量 上田 99mm 笠岳 74mm 南木曾 71mm	床上浸水46戸, 床下浸水325戸, 農業関係被害323,422千円, 林業関係被害額19,206千円, 公共土木施設被害額1,786,950千円, 被害総額2,129,578千円
9. 2 ~4	豪雨	県下全域	雨量 御岳389mm 木曾福島166mm 南木曾182mm 飯島237mm 飯田207mm 大鹿209mm 浪合307mm 南信濃308mm 阿南332mm	全壊1戸, 一部破損2戸, 床上浸水2戸, 床下浸水3戸, 農業関係被害額1,458,497千円, 林業関係被害額5,313,096千円, 公共土木施設被害額6,274,490千円, 被害総額13,127,073千円
9. 3	地すべり	阿南町早稲田地区	幅70m 長さ180m 深さ13m 崩壊土量7万m <sup>3</sup>	農業関係被害額56,800千円, 公共土木施設被害額140,000千円, 被害総額196,800千円
9. 19 ~20	台風22号	県下全域	雨量 御岳山307mm 阿南195mm 網掛山183mm 浪合181mm 南信濃196mm 檜川163mm 須原142mm 南木曾133mm 木曾福島146mm 開田179mm 鬼無里117mm 白馬113mm 野沢温泉121mm 大町116mm	農業関係被害額785,000千円, 林業関係被害額1,540,170千円, 公共土木施設被害額2,981,333千円, 被害総額5,306,503千円

○災害年表の参考史料は、次のとおりである。

長野県気象年報, 長野県気象月報, 長野県の災害と気象, 長野県統計書, 長野県政史, 災害をこえて, 災害復旧の記録昭和36年6月梅雨前線豪雨, 南木曾災害, 天竜川史料, 諏訪湖氾濫300年史, 千曲川治水史, 姫川流域の砂防治水に関する調査報告, 裾花川, 浅川及土尻川流域等の砂防治水に就て, 松本市東筑摩郡誌, 南安曇郡誌, 北安曇郡誌, 中土誌, 西筑摩郡誌, 上伊那郡誌, 村史ときわ, 北佐久郡誌, 上田小県誌, 松代町誌, 埴科郡誌, 下高井郡誌, 信濃毎日新聞, 朝日新聞

## 17 砂防関係参考文献表

図 書 名	発行年月	発行者	著者名	内 容
長野県林野砂防協会報特別号 長野県北安曇郡小谷地方における地すべりについて	昭和 11年5月	長野県林野 砂防協会	八木貞助	北安曇郡小谷地方の地すべり、山崩れの状況を調査し、地質地形学的検討を行っている
犀川砂防事務所管下地すべりの調査	" 24, 4	長野県治水 砂防協会	八木貞助	明科以北の犀川沿川山地のうち東筑摩郡、北安曇郡に属する地域の地すべり山崩れの発生状況を調査し、地質地形学的検討を行っている。
姫川流域の砂防治水に関する調査報告	" 24, 6	"	八木貞助	姫川流域(北安曇郡小谷村、白馬村管内)の災害発生状況、崩壊、地すべりの分布とその性格、全体の地形、地質、気象、森林状況を記載し、また主な支流の状況と砂防施設の必要性を個々に検討している。
裾花川、浅川及土尻川流域等の砂防治水について	" 26, 1	"	八木貞助	裾花川、浅川の上流及び土尻川流域(長野市浅川、小田切、芋井、七二会、篠の井区及び上水内郡小川村、中条村、信州新町、鬼無里村、戸隠村、北安曇郡美麻村北部)についてその地形、地質、気象の一般性をのべ、地すべり、崩壊の発生状況、過去の災害記録を整理、記載している。又主な支川の状況と砂防施設の必要性を検討している
昭和27年度 地すべり調査報告書 (上水内郡七二会村裡尾)	" 28, 4	長野県 砂防課	長野県 砂防課	長野市七二会狸尾地すべりの地質、地形、土質、地下水、地すべり機構の考察
昭和28年度 茶臼山地すべり調査報告	" 29, 2	"	"	茶臼山地すべり地の発生地帯下部におけるボーリングによる地質調査及びすべり面測定管によるすべり面調査の結果について記載
中谷川水源崩壊調査書	" 28, 10	"	"	姫川支中谷川流域の崩壊、地すべりの発生状況を調査し、地質地形、林相、気象との関連性を考察しあわせて砂防全体計画を検討
昭和28年度砂防調査 女鳥羽川流域水源崩壊調査書	" 29, 10	"	"	女鳥羽川流域の水源地域の崩壊発生状況を調査し、地質、地形、林相、気象との相関性を考察、あわせて砂防計画を検討
昭和28年度砂防調査 土尻川流域水源崩壊調査書	" 29, 2	"	"	土尻川流域の崩壊及び地すべりの発生状況を考察し、地形、地質、林相、気象との相関性を考察、あわせて砂防全体計画を検討
昭和29年度砂防調査 太田切川水源崩壊調査書	" 29, 12	"	"	太田切川流域水源地域の崩壊発生状況を考察し、地形、地質、林相との相関性を考察し、砂防全体計画を検討

図 書 名	発行年月	発 行 者	著 者 名	内 容
昭和29年度砂防調査 笹川流域水源崩壊調査書	昭和 29. 12	長 野 県 砂 防 課	長 野 県 砂 防 課	木曾川支笹川流域の水源地域の崩壊発生状況を調査誌、地形、地質、林相、気象との相関性を検討、砂防全体計画を記載
昭和29年度砂防調査 遠山川支上村川水源崩壊調査書	" 29. 12	"	"	天竜川水系、遠山川支上村川の水源地域の崩壊発生状況を調査し、地形、地質、林相、気象との相関性、砂防全体計画を検討
昭和30年度 遠山川上流部水源崩壊調査書	" 30. 12	"	"	遠山川上流部の水源地域につき上記と同じ調査を実施、記載
昭和31年度 遠山川下流部水源崩壊調査報告書	" 32. 3	"	"	遠山川下流部の水源地域につき上記と同じ調査を実施記載
昭和30年度 中房川流域水源崩壊調査報告書	" 31. 3	"	"	中房川流域の水源地域の崩壊発生状況を調査し、地質、地形、林相、気象との相関性を考察し、あわせて砂防全体計画を検討
昭和33年度砂防委託調査 阿知川流域砂防調査報告書 (その1)	" 34. 1	"	"	阿知川流域の水源地域(南部地区)の崩壊状況を調査し、地質、地形、林相、気象との相関性を考察、あわせて砂防全体計画を検討している
昭和34年度砂防委託調査 阿知川流域砂防調査報告書 (その2)	" 34. 1	"	"	阿知川流域の水源地域の北部地区につき上記と同じ調査をして記載している
昭和30年度総合開発調査 姫川調査地域水文調査報告書	" 31. 2	長 野 県 新 潟 県	長 野 県 新 潟 県	長野県～新潟県の姫川流域の気象及び姫川の流量観測結果を記載
昭和31年度国土総合開発調査 姫川上流土地利用対策調査報告書(流砂量の部)	" 32. 3	長 野 県	長 野 県	姫川流域上流部の本川及び諸支川の河床変動状況、浮遊含砂量、既設堰堤堆砂状況を調査し、流出土砂量を推定している
昭和30年度国土総合開発調査 姫川荒廃実地調査報告書	" 31. 3	"	"	姫川流域水源地域の崩壊、地すべり発生状況を調査し、地形、地質、林相、気象との相関性を考察、また過去の災害発生状況を検討している
国土総合開発計画調査 姫川地域応用地質調査報告書	" 31. 3	"	通 産 省 地 質 調 査 所	姫川流域の地すべり、崩壊地の性格を地質、水文、土壌物理、地化学、地下水理学的に調査し、又電源開発、地熱開発の可能性を検討している
昭和35年度砂防委託調査 千曲川上流八ヶ岳周辺砂防調査報告書	" 36. 2	長 野 県 砂 防 課	長 野 県 砂 防 課	千曲川流域八ヶ岳周辺地区(大石川、本間川、大月川、湯川、高石川、柚添川、板橋川の流域)の崩壊状況を調査、地形、地質、気象、林相との関係を考察している。特に昭和34年8月14日の7号台風に伴う豪雨によって発生した崩壊を調査している。又砂防基本計画の検討を行なっている



図 書 名	発行年月	発 行 者	著 者 名	内 容
昭和36年度砂防委託調査 天竜川上流八ヶ岳周辺砂防調 査報告書	昭和 37. 3	長 野 県 砂 防 課	長 野 県 砂 防 課	天竜川上流の八ヶ岳周辺地区（上川，宮川，釜無川の流域）の崩壊状況を調査，地形，地質，気象，林相との関係を考察している。また昭和34年8月14日の7号台風に伴う豪雨の際発生した崩壊，土石流について検討し，あわせて全流域の砂防基本計画を樹立している
天竜川流域砂防調査(第一報)	" 38. 3	長 野 県 土 木 部	長 野 県 土 木 部	天竜川流域全般の地形，地質，降雨量，林相の概況をのべ，主な支川（三峯川，太田切川，小沢川，飯田松川，阿知川，遠山川）の水源の状況を記載し，また昭和36年の梅雨前線豪雨の状況をのべている
天竜川流域砂防調査(第二報) —飯田松川流域—	" 39. 3	"	"	天竜川支川飯田松川流域について，地形，地質，林相，気象の概況をのべ，また水源地域の崩壊発生状況を調査し，流送土砂量の検討を行なっている。特に昭和36年6月の梅雨前線豪雨の影響を調査し，砂防基本計画の考察を行なっている。
茶臼山地すべり調査報告書 (その1)	" 33. 3	長 野 県 砂 防 課	長 野 県 砂 防 課	昭和32年度に実施した茶臼山地すべり地におけるボーリングによる地質調査，地すべり面調査，土塊移動状況観測成果について記載している
茶臼山地すべり調査報告書 (その2)	" 34. 3	"	"	昭和33年度に実施したボーリングによる地質調査，地すべり面調査の結果と地すべり地内及び周辺の陸水の化学分析結果を記載，あわせて土塊移動状況の観測結果について記載している
茶臼山地すべり調査報告書 (その3)	" 35. 3	"	"	昭和34年度に実施した茶臼山地すべり地におけるボーリングによる地質調査，地すべり面調査の結果とボーリングコアの附着水の化学分析の結果を記載，あわせて土塊移動状況の観測結果，周辺山地の地質調査結果について記載している。
茶臼山地すべり調査報告書 (その4)	" 36. 3	"	"	昭和35年度に茶臼山地すべり地で実施したボーリングによる地質調査，地すべり面調査，電気探査による地下水調査，地下水観測井戸の揚水試験地すべり地周辺の陸水の化学分析及び土塊移動状況の観測結果について記載している
茶臼山地すべり調査報告書 (その5)	" 37. 3	"	"	昭和36年度に実施した茶臼山地すべり地のZ～ZSection，C～CSectionにおけるボーリング調査結果と土塊移動状況の観測成果を記載している。

図 書 名	発行年月	発 行 者	著 者 名	内 容
茶臼山地すべり調査報告書 (その6)	昭和 38. 3	長 野 県 砂 防 課	長 野 県 砂 防 課	昭和37年度に実施した茶臼山地すべりの地の地すべり発生地帯下部におけるボーリング調査結果と、土塊移動状況の観測成果及び地下水位の観測結果について記載している
茶臼山地すべり調査報告書 (その7)	" 39. 4	"	"	昭和38年度に実施した茶臼山地すべり地におけるボーリング調査、土塊移動調査、電気探査による地下水調査の成果を記載すると共に昭和32年度～昭和37年度に行った調査の成果を要約記載している
茶臼山の地すべりについて	" 40. 5	"	"	茶臼山地すべり地の状況、発達経過の概要をのべ、昭和32年度～昭和39年度に行なった調査成果にもとずき地すべり地下構造、土塊移動の状況、地下水の状況及び地すべりの対策の歴史と今後の方針をのべている。
茶臼山地すべり調査報告書 (その8)	" 41. 3	"	"	昭和39、40年度に実施した茶臼山地すべり地における土塊移動量調査、地下水調査の結果を記述しあわせて昭和38、39、40年度に実施した地すべり対策工事（深井戸、排水工、長孔横孔ボーリング工）で判明した事項を記載している。
茶臼山地すべりについて	" 43. 3	"	"	昭和40年8月松代群発地震発生以後の地すべり地の概況をのべ、昭和42年度に集中的に実施した次の諸調査の概要を記述している ボーリング調査、地下水検層、弾性波探査、電気探査、自然放射能探査、水質試験、地盤変動状況調査
倉並地すべり	" 44. 4	"	"	倉並地すべり地で実施された昭和38年度以後のボーリング調査、地すべり面調査地下水調査の要点をのべ地すべり機構を考察し、対策工事の検討を行っている
茶臼山地すべり	" 45. 3	"	"	昭和42年度以後の調査成果に基づき茶臼山地すべりの地下構造、地すべり面土塊移動、地下水の性格を検討し、地すべり機構を考察あわせて対策工事の方針と問題点をのべている
茶臼山地すべり調査資料集 移動量表(昭和41年～45年)	" 46. 3	"	"	茶臼山地すべり地における昭和41年～45年間の土塊移動状況の観測結果をまとめて記載している
茶臼山地すべり調査資料集 (その2)	" 47. 3	"	"	茶臼山地すべりにおける昭和41～45年間の次の諸調査の資料をまとめて記載している。ボーリングによる地質調査、地すべり面調査、地下水位観測、地すべり地内外の陸水の水質試験、揚水試験、地下水検層試験

図 書 名	発行年月	発 行 者 及び著者名	内 容
三峰川砂防調査中間報告書	昭和30年5月	建設省天竜川 上流工事事務所	流域の概要流域砂防事業とその資料流域の気 象崩壊の状況等
小渋川砂防調査報告書	"	"	"
砂防調査および土砂調査資料 編 (上)	" 36. 3	"	流域の概要、砂防調査および砂防工事の概要 崩壊地調査、貯砂量および調節量調査等
" (下)	" 36. 7	"	河床変動調査、河床変動量調査、浮遊土砂調 査、地質調査、林相等
天竜川上流流域崩壊地調査報 告書	" 37. 3	"	36年の広域発生崩壊地の早期状況把握
天竜川上流流域崩壊地調査報 告書 第2次	" 37. 12	"	推定崩壊量および崩壊地発生状況の現地調査 による具体化
" 第3次	" 38. 11	"	生産された土砂の流出状況の把握 (小渋川流域)
" 第4次	" 39. 11	"	" (三峰川、与田切川、新宮川、太田切川、 片桐松川、中田切川)
天竜川上流流域崩壊地調査報告 書 第5次	" 41. 3	"	太田切川流域堆砂状況把握、天竜川の河床礫 による各支川の影響度の検討、中央構造線沿 い地すべり地の状況把握
" 第6次	" 42. 3	"	中央機構線沿い地すべり地の不安定土砂量堆 定、天竜川の河床材料による各支川の影響度 の検討1次～次6調査のまとめ
天竜川上流崩壊地調査報告書	" 39. 6	"	36年6月梅雨前線豪雨、崩壊の諸要素、小渋 川流域における推砂について
" その2	" 41. 2	"	三峰川流域崩壊地調査、三峰川の河床材料調 査、美和ダムの堆砂、竜西流域崩壊について 等
" その3	" 43. 3	"	太田切川流域推砂状況調査、天竜川河床砂礫調 査、河床礫の磨耗試験、河床材料細粒部分の 調査、中央構造線沿い地すべり崩壊地調査
中央構造線沿い地質調査報告	" 41. 1	"	中央構造線沿い地質崩壊について
竜東流域地質調査報告書	" 42. 2	"	竜東流域の地質崩壊について
崩壊土量の解析	" 42. 2	"	三峰川流域について崩壊地点の崩壊土量とこ れを起す諸因子との関係を定量的に解析した もの
河床材料調査試験報告書	" 42. 9	"	天竜川上流に施工された既設砂防ダムの場所 の河床材料調査で資料採取、単位容積重量、 粒度分析平均

図 書 名	発行年月	発 行 者 及び著者名	内 容
三次元解析方式の検討報告書	" 42. 10	建設省 天 竜 川 上 流 工 事 事 務 所	砂防ダムに関する三次元応力解析の諸方式をダムサイトの地形および地質、ダムの大きさおよび形状等を総合的に勘案した立場から検討した。
水源崩壊地調査報告	" 42. 3	"	前茶臼山崩壊地の復旧を前提とした崩壊地の精密調査
竜西流域雨量解析報告書	" 42. 3	"	竜西流域全領域を1.25kmの格子で覆い各格子点の雨量解析を行なった
竜西流域地質調査報告	" 43. 1	"	竜西流域の地質崩壊について
与田切川流域地形計測	" 43. 12	"	与田切川流域について1/10,000地形図に基き地形要素を示す各種項目について計測計質を行なった。
河床材料調査	" 43. 3	"	太田切川0.0km~8.4km、中田切川0.0km~5.5km、400m間隔で試料採取単位容積量粒度分析平均粒径の計算を行う
水源崩壊地調査報告書第2回	" 43. 2	"	前茶臼山崩壊地の復旧を前提としての崩壊地調査
" 第3回	" 45. 1	"	"
天竜川流域崩壊推移状況調査並びに太田切川河床堆積状況調査報告書	" 46. 1	"	天竜川上流域における昭和36~昭和44間の土砂源分布状況推移および崩壊状況推移解析、太田切川流域現地調査結果
信濃川水系砂防調査中間報告書	" 30. 12	建 設 省 松 本 砂 防 工 事 事 務 所	信濃川上流の北アルプス山地から流下する諸河川の砂防計画樹立に必要な諸調査について概要をのべ中間段階での検討を行なった
洪水流砂量の一考察	" 33.	"	砂防堰堤工事による流砂量の直接抑止効果について考察
霞沢堰堤の応力解析について	"	"	動式砂防堰堤における三次元の応力計算について考察
焼岳出張所概要	" 38. 1	"	松本砂防工事事務所焼岳出張所管内の砂防工事を紹介
砂防における地形調査試案	昭 和 38. 5	"	砂防計画の樹立にあたって基礎になる地形調査の方法を考察
シュミットテストハンマーを利用した地質調査	" 38. 10	"	地質状態を数量的に表現する一手段としてシュミットテストハンマーを利用した調査について方法実施例をあげ検討した
昭和38年度コンクリート試験結果報告書	" 39. 6	"	昭和38年度に実施したコンクリート試験をまとめ検討した
北アルプス山地における山地荒廃状況調査	" 39. 11	"	森林限界から上部の山地荒廃状況を中心として北アルプス山地の状況を調査、検討した



図 書 名	発行年月	発 行 者 及び著者名	内 容
信濃川、姫川水系砂防調査報告書 同 上 (第2回)	" 40. 3	"	信濃川上流、北アルプス周辺及び姫川流域の各河川につき水源崩壊状況を調査し砂防計画を検討した
同 上 (第3回)	" 43. 3	"	
同 上 (第4回)	" 45. 3	"	
同 上 (第5回)	" 47. 3	"	
市の瀬ダム工事誌	" 48. 3	飯田建設事務所	市の瀬ダムの工事についての記録誌
清水山地すべり(パンフレット)	" 49. 10	姫川砂防事務所	昭和49年度、全国地すべり、がけ崩れ対策協議会福島県大会の発表、説明資料に使用したパンフレットである。
昭和51年度 地すべり機構調査(総合解析) 報告書	" 51. 9	長野県土木部	清水山地すべりの昭和43年から昭和49年にかけて行なった調査結果をとりまとめ、今後の対策工事の基本方針を立てることを目的とした報告書である。
清水山地すべり状況調査	" 52. 3	山 岸 正 徳 小 林 徳 雄	清水山地すべり災害の記録を山岸正徳小林徳雄両氏が言い伝えや体験等をもとにし発生年別に記載してある。
茶臼山地すべり	昭和 52. 3. 31	土尻川砂防事務所 (編集土木部砂防課)	昭和51までの茶臼山地すべりの総括
信濃川上流直轄砂防百年史別 編 長野県上水内郡小川村 稲丘東組 桑師澤砂防文書	" 52. 3	建設省北陸地方 建設局 松本砂防工事事務 所	内務省時代の小川村桑師沢砂防工事に関する文書(写)
昭和53年度 地すべり機構調査報告書	" 53. 6	長 野 県 土 木 部	清水地すべりの最上流部に位置するC-2ブロックを対象にした、ボーリング調査と、A、Dのブロックについて実施した調査結果を記載してある。
急傾斜地崩壊防止工事施工実 例集	" 53. 11	全国地すべり、がけ 崩れ対策協議会	全国各地で実施された急傾斜地崩壊防止工事の実例を取りまとめたもの
清水山地すべり対策現地討論 会	" 53. 12	長野県姫川砂防事 務 所	昭和53年12月4日小谷村開発センターで行なわれた討論会の内容が記載されている。
昭和53年度 清水山本流地すべり(中の沢) 安定解析	" 54. 2	長 野 県 砂 防 課	本流(中の沢)地すべり全体の地すべり機構の考察、安定解析について記載されている。
昭和54年度 地すべり対策機構解析報告書	" 54. 8	長 野 県 土 木 部	清水山地すべり、中の沢本流ブロックの最も下流部に位置するAブロックの西半分の地質調査結果について記載してある。
西河原地すべりについて	" 54. 9	土尻川砂防事務所	昭和54までの西河原地すべりの総括 (パンフレット)

図 書 名	発行年月	発 行 者 及び著者名	内 容
昭和54年度 地すべり対策地質調査	" 54. 12	長 野 県 土 木 部	清水山東部、三峰山の北部に施工中の排水トンネル工の集水工事の工種決定を目的にした調査結果について記載してある
急傾斜地崩壊防止工事技術指針—検討資料	" 55. 3	建設省河川局砂防 部 傾 斜 地 保 全 課	急傾斜地崩壊対策事業技術指針作成の資料として、各都道府県に依頼し、収集した資料を整理したもの
昭和55年度 地すべり対策地質	" 55. 7	長 野 県 土 木 部	清水山地すべり地において昭和54年度調査に引き続き、調査地内に施工中の排水トンネルの集水工事を決定する目的を記載してある。
昭和55年度 地すべり対策地質調査	" 55. 8	長 野 県 土 木 部	清水山地すべり下部左岸f-2ブロックの地質調査ボーリングの結果について記載してある。
清水山地すべり (パンフレット)	" 56. 11	姫 川 砂 防 事 務 所	地すべりの概要事業の経緯等を記載してある。
月沢砂防ダム工事誌	" 56. 12	犀 川 砂 防 事 務 所	昭和34年7号台風による下流域の大災害を契機に抜本的な土石流対策のための大型砂防ダムの建設が提起され、昭和45年度に調査を開始して以来10年余の歳月を経て完成を見ることができた月沢砂防ダムの工事記録日誌である。
日本砂防史	" 56. 6	社 団 法 人 全 国 治 水 砂 防 協 会	砂防思想、計画、予算制度、技術、工法の変遷、各地の砂防、地すべり急傾斜事業の実施例等
倉並地すべり	" 58. 10	土 尻 川 砂 防 事 務 所 (文責 望月巧一)	昭和58までの倉並地すべりの総括
地すべり対策工事に伴う機構 調査	" 58. 3 " " 59 " 60 " 61 " 62 " 63 平 成 元 年	佐 久 建 設 事 務 所	小諸市富士見平における地形・地質・降雨量・地すべり災害の経過等を述べ、伸縮計観測、傾斜計等の観測を行ない、安定計算、対策工事、今後の問題点等記載している。
昭和58年度 地すべり対策地質調査	" 59. 3	長 野 県 土 木 部	清水山地すべりのDブロック南端に発生した地すべり災害箇所についての地質調査ボーリングの結果について記載してある。
昭和59年度土砂災害実態調査 報告書	" 60. 3	木 曾 建 設 事 務 所	長野県西部地震で土砂災害を生じた濁川、鈴ヶ沢をはじめとする流域において、地形、地質、植生、大規模崩壊、河床部変動量、崩壊推移量、土砂収支等について調査をおこなったもの

図 書 名	発行年月	発 行 者 及び著者名	内 容
昭和60年度砂防激甚災害対策特別緊急委託調査(長野県西部地震土砂害実態調査)報告書	" 60. 9	"	長野県西部地震で著しい土砂の生産がおこなわれた伝上川、濁川、鈴ヶ沢等の流域の実態を把握および新規崩壊調査、崩壊特性調査を実施した。
昭和60年度国補砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う地質調査委託報告書 濁沢第1	" 60. 7	"	王滝村濁沢ダム施工のため調査ボーリング等をおこない砂防ダムの許容支持力、安定度の検討をおこなったもの。
昭和60年度国補砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う地質調査報告書 濁沢第2	" 60. 7	"	
昭和60年度砂防激甚災害対策特別緊急地質及び地下水検層委託報告書 濁沢第2(その2)	" 60. 9	"	王滝村濁沢第2砂防ダムの地質調査、地下水調査として、調査ボーリング、地下水検層等をおこなったもの。
昭和60年度県単砂防地質調査委託管内土砂危険溪流	" 61. 3	"	木曾建設事務所管内にあって既往調査によって危険溪流と判定された311溪流について、既存資料、現地観察などから土石流が発生する危険度、発生した場合の危険度を総合的に判断したもの
記録映画 「長野県西部地震災害の記録」	" 60. 6	木曾建設事務所	記録映画制作 「長野県西部地震災害の記録」 1. 種別16ミリ映画 2. 上映時間30分 3. 数量プリント2巻
59年度 緊急地すべり対策(調査委託)報告書上島第四ブロック	" 60. 3	木曾建設事務所	地すべり危険ヶ所：王滝村上島地区WIVブロックについて、ボーリング調査及び地盤伸縮計パイプ歪計等の観測をおこなったもの。
60年度 地すべり激甚災害対策特別緊急地質調査委託報告書上島第IIブロック	" 61. 2	木曾建設事務所	地すべり危険ヶ所、王滝村上島地区についてボーリング調査等をおこない地すべり発生機構を解析し、防止工法の検討をおこなったもの。
60年度 地すべり激甚災害対策特別緊急地質調査委託報告書 上島	" 61. 2		
61年度 地すべり激甚災害対策特別緊急事業に伴う調査委託報告書上島	" 61. 10		
61年度 地すべり激甚災害対策特別緊急事業に伴う調査委託報告書上島第3ブロック	" 62. 2		

図 書 名	発行年月	発 行 者 及び著者名	内 容
61年度 地すべり激甚災害対策特別緊急事業に伴う観測委託報告書	" 62, 3	木曾建設事務所	王滝村上島地区の地すべりブロックのうちWII～WIVブロックで実施した地盤伸縮計、パイプ歪計及びボーリング孔内水位の観測調査の結果をまとめたもの。
59年度 国庫補助緊急地すべり対策 (調査委託)報告書 滝越その1	" 60, 3	木曾建設事務所	地すべり危険ヶ所王滝村滝越地区についてボーリング調査等をおこない、地すべり発生機構を解析し、防止工法の検討をおこなったもの
59年度 国庫補助地すべり対策に伴う 調査委託報告書 (滝越地区)	" 59, 11	木曾建設事務所	地すべり危険ヶ所の王滝村滝越地区において地質概査、調査ボーリングをおこない鋼製枠谷止工予定地の地質状況および基礎地盤の支持力等を把握したもの
59年度 国庫補助地すべり対策に伴う 調査委託報告書 (松越地区)	" 59, 11	"	地すべり危険ヶ所王滝村松越地区の第1ブロックにおける基礎資料を得ることを目的に調査ボーリングをおこなったもの
59年度 国庫補助緊急地すべり対策 (調査委託)報告書 松代災害ブロック	" 60, 3	"	地すべり危険ヶ所王滝村松越地区の地すべりブロック及び通称東地区の大崩壊地に隣接した2次崩壊危険斜面の挙動状況及び地下水流動調査、地下水位観測、歪計観測等をおこなったもの
59年度 国庫補助緊急地すべり対策 (調査委託)報告書 松越第1ブロックⅠ工区	" 60, 3	"	地すべり危険ヶ所王滝村松越地区について、調査ボーリング等をおこない地すべり機構の解析および防止対策工の検討をおこなったもの
60年度 地すべり激甚災害特別緊急地 質調査委託報告書 (松越地区)	" 61, 2	"	
63年度 地すべり激甚災害対策特別緊急事業概成調査	" 63, 3	"	長野県西部地震により発生した地すべり災害対策事業について、工事内容の集計及び対策上の効果について調査したもの
まさか王滝に！ —長野県西部地震の記録—	" 61, 3	王 滝 村 長 家高卓郎 長野県西部地震の 記録編さん委員会	長野県西部地震時の村の状況、災害概要、今後の防災に対する教訓、心構えなどをとりまとめたもの
震災 長野県西部地震災害復旧の記 録	" 61, 3	長 野 県 木曾建設事務所 長野県西部地震記 録 編 集 委 員 会	長野県西部地震の地震の概要、被害状況、災害復旧事業、緊急、激特砂防、地すべり対策事業の記録をまとめたもの



図 書 名	発行年月	発 行 者 及び著者名	内 容
牛伏川砂防工事 沿革史(その二)	昭 和 61 11, 10	長 野 県 牛伏川砂防堰堤期 成 同 盟 会	昭和8年「牛伏川砂防工事沿革史」の刊行を もとに、昭和8年以降の「牛伏川砂防工事沿 革史」により、牛伏川百年の治山治水の概要 をまとめたもの。
昭和62年度 地すべり対策地質調査	" 63, 3	長 野 県 土 木 部	清水山地すべりが当時、最も活発な滑動示し ていたBブロックの土地地質調査ボーリング の結果について記載してある。
昭和63年度 総合土石流対策 モデル事業(玉滝地区)に伴う 警戒、避難体制検討委託業務 報告書	" 63, 12	木曾建設事務所	長野県木曾郡玉滝地区において、 ①降雨特性の検討 ②危険区域及び避難路検討 ③地元住民啓蒙アンケートのための資料作成 の3項目の調査をおこない土石流の警戒、避 難体制の検討をおこなった
急傾斜地崩壊防止敷設修繕工 事実例集	平 成 元 年	全国地すべりがけ 崩れ対策協議会	全国各地で実施された急傾斜地崩壊防止施設 修繕工事の実例を集めたもの
浅間山火山調査	" 3	建設省利根川水系 砂防工事事務所	浅間火山にかかわる地形、地質、気象、噴火 の概略史などがのべられており、また、それ らにかかわる河川および、土砂災害といった ものがあげられている。 最後に、浅間火山砂防の対象とする現象の検 討・火山砂防基本計画の策定方針をのべてい る。
復旧への足跡 地附山地すべり対策事業の記 録	" 3	長 野 県 土 木 部 長 野 建 設 事 務 所	昭和60年7月26日に発生した長野市地附山 (標高733m)の大規模な地すべり災害に伴う 対策事業について、計画調査、設計、施工、 地元への対応地すべり機構解析等を詳細に記 録している。
地附山地すべり機構解析報告 書	" 5	地附山地すべり機 構解析検討委員会	委員会の活動経緯から地附山地域の概要(地 質、地形、気象)、地すべりの経過、現地の調 査検討、挙動解析、発生機構と原因、将来へ の提言まで3年余の委員会の検討結果の集大 成
復旧への足跡	" 3	長野県 長野建設事務所	昭和60年7月に発生した地附山地すべり災害 に関する調査や工事の記録について記載して いる。
犀川砂防事務所 管内の地形・地質	" 10	犀川砂防事務所	犀川砂防事務所管内の2町7ヶ村における地 形・地質の状況を信州大学高橋先生をはじめ 鳥羽、藤井、小坂先生の調査により発刊され たもので、管内の土石流危険渓流や地すべり 危険箇所の工事を施工する上で貴重な資料で ある。

図 書 名	発行年月	発 行 者 及び著者名	内 容
砂防、地すべり防止施設事例集	" 10	社 団 法 人 全国治水砂防協会	全国各地において施工された砂防、地すべり防止施設の事例を集めたもの
平成元年度 地すべり対策地質調査	" 12	長 野 県 土 木 部	清水山地すべりの最上流部左岸に位置するEブロックの地質調査ボーリングの結果について記載してある。
地すべり調査 報告書 阿南町井戸	" 12	長 野 県 土 木 部 飯田建設事務所	平成元年に実施した阿南町井戸地すべりに対しての機構調査、地質調査の報告書
井戸地すべり災害記録	平 成 2. 3	阿 南 町	地すべり災害の発生から避難体制、避難解除まで、町としての対応を中心に記録したもの

18 歴代砂防課職員名簿

	課長	庶務					技術	
昭14	遠藤佐五右衛門	唐沢金吾	小山武男	酒井 等			小沢 潔	高倉源太郎
15	遠藤佐五右衛門	唐沢金吾	北島武雄	酒井 等	五味 連		小林 茂	黒井俊治
16	和田嘉六	唐沢金吾	北島武雄	五味 連	小林安夫		小林 茂	黒井俊治
17	和田嘉六	唐沢金吾	北島武雄	五味 連	小林安夫		小林 茂	黒井俊治
18	和田嘉六	唐沢金吾	北島武雄	小林安夫			小林 茂	森 知行
19	和田嘉六	清水慶男	藤沢尚夫				小林 茂	小島 宗
20	施設課に統合される							
21	水野鉉三	今井忠貞	藤沢尚夫	夏目俊夫			鶴川憲宣	小島 宗
22	水野鉉三	峯丸宗松	藤沢尚夫	溝口豊治	夏目俊夫	清瀧妙子	中村秀男	宮田雄三
23	水野鉉三	清水慶男	藤沢尚夫	夏目俊夫	清瀧妙子	池田 静	宮田雄三	中山正男
24	水野鉉三	資料なし						

	課長	事務補佐	庶務係					
昭25	水野鉉三	宮沢英一郎	藤沢尚夫	渡辺正三	夏目俊夫	宮岡しま	村松英一	清水冠次
			池田 静					
26	水野鉉三	資料なし						

	課長	事務補佐	庶務係長	庶務係				
昭27	水野鉉三	夏目録郎	夏目録郎	藤沢尚夫	松瀬孝一	渡辺正三	夏目俊夫	村松英一
				宮岡しま				
28	矢野義男	青木善次郎	青木善次郎	吉沢正義	渡辺正三	松瀬孝一	夏目俊夫	宮岡しま
				中沢 要				
29	矢野義男	青木善次郎	青木善次郎	吉沢正義	渡辺正三	松瀬孝一	小林三与喜	風間玉江
				宮岡しま	中沢 要			
30	木村三郎	青木善次郎	青木善次郎	市川育甫	大宮 勇	小林三与喜	渡辺正三	松瀬孝一
				宮岡しま	風間玉江	中沢 要		
31	木村三郎	若林政見	若林政見	市川育甫	大宮 勇	松瀬孝一	竹下長徳	古瀬しま
				風間玉江	高木重行	中沢 要		
32	木村三郎	資料なし						
33	木村三郎	丸山金治	丸山金治	竹内一与	大宮 勇	竹下長徳	高木重行	松瀬孝一
				古瀬しま	中沢 要	飯吉保子	角田哲男	
34	木村三郎	丸山金治	丸山金治	竹内一与	大宮 勇	高木重行	松瀬孝一	古瀬しま
				中沢 要	松沢清一	角田哲男	千野和子	
35	木村三郎	中沢喜利	中沢喜利	竹内一与	大宮 勇	竹下長徳	高木重行	松瀬孝一
				中沢 要	角田哲男	千野和子		

昭和38年までは1月1日，以降は4月1日現在  
 (昭和23年から係制となり，昭和25年から事務補佐，昭和27年から係長制となる。)

技 術					
三溝一郎	穂坂貞三	田島武司	清水恵治		
高倉源太郎	小島 宗	三溝一郎	中村賢行	武田龍雄	太川五郎
高倉源太郎	小島 宗	矢島武之助	大川五郎		
高倉源太郎	小島 宗	矢島武之助	大川五郎		
小島 宗	土屋 年	塚田由雄	野本 博		
土屋 年	荻原幸雄				
龍沢一雄	金兎正則	青沼勝巳			
中山正男	宮崎一男	滝沢一雄	青沼勝巳	正村保雄	高野 章
宮崎一男	滝沢一雄	青沼勝巳	松林正義	正村保雄	高野 章

**お詫び**  
 名簿作成については、長野県職員録を採用しましたので、その年度の発刊日の違いから、在籍年数に多少の差がございますがご理解がいたします。

技 術 係				調査試験係		
中山正男	宮崎一男	滝沢一雄	青沼勝巳	大久保友次	松林正義	松瀬孝一

技術係長	技 術 係						
青木 守	宮崎一男	滝沢一雄	青沼勝巳	水島尚一	大久保友次		
両角敏男	茅野栄一	滝沢一雄	青沼勝巳	水島尚一	白井 忍	中村佳広	金井 清
	近藤正昭						
両角敏男	茅野栄一	滝沢一雄	青沼勝巳	水島尚一	近藤正昭	滝沢和夫	白井 忍
	中村佳広						
両角敏男	宮崎一男	茅野栄一	青沼勝巳	水島尚一	近藤正昭	滝沢和夫	白井 忍
	中村佳広						
両角敏男	宮崎一男	塩沢信山人	青沼勝巳	水島尚一	近藤正昭	滝沢和夫	飯島佳広
竹花友司	宮崎一男	塩沢信山人	青沼勝巳	水島尚一	近藤正昭	滝沢和夫	飯島佳広
竹花友司	田中良一	菱田義寛	水島尚一	近藤正昭	滝沢和夫	紅粉 彰	宮原雪夫
松林正義	田中良一	菱田義寛	水島尚一	下平小平	小口 毅	滝沢和夫	望月巧一
	宮原雪夫						



	課長	技幹	事務補佐	庶務係長	庶務係		
昭36	木村三郎		中沢喜利	中沢喜利	横地武一	会津衛	竹下長徳
37	阿座上新吾		宮入直呂	宮入直呂	横地武一	会津衛	竹下長徳
38	阿座上新吾		宮入直呂	宮入直呂	井部定雄	会津衛	吉田豊

	課長	技幹	事務補佐	庶務係長	庶務係		
昭39	阿座上新吾	増田進	宮坂幸吉	宮坂幸吉	井部定雄	塩野入貞雄	菊地金光
40	阿座上新吾	増田進	宮坂幸吉	宮坂幸吉	大川正夫	塩野入貞雄	南島貞一
41	松林正義	滝沢一雄	宮坂幸吉	宮坂幸吉	大川正夫	南島貞一	江口葉一
42	松林正義	滝沢一雄	宮島耕一	宮島耕一	大川正夫	南島貞一	江口葉一
43	松林正義	依田久雄	宮島耕一	宮島耕一	綿貫顕	南島貞一	江口葉一
44	松林正義	依田久雄	宮島耕一	宮島耕一	天野一男	南島貞一	塩野入貞雄
45	松林正義	青沼武之助	小林喬	小林喬	天野一男	南島貞一	塩野入貞雄
46	松林正義	菅原慶一	小林喬	小林喬	小山茂	南島貞一	塩野入貞雄

	砂防係長	砂防係			災害復旧係長	災害復旧係	
昭36	松林正義	近藤正昭	小口毅	望月晏	山口熙	青木節義	上條喜
		望月巧一	市川悦雄			下平小平	福井則八
37	松林正義	鮎澤克巳	小口毅	武田明真			
		山内喜美男					
38	松林正義	鮎澤克巳	小口毅	武田明真			
		柳館謙吉					
39	依田久雄	小宮山和則	上條喜	柳館謙吉			
		西沢和夫					
40	依田久雄	武田明真	柳館謙吉	柄沢三男			
		西沢和夫					
41	花岡文雄	伊澤修	柄沢三男	西沢和夫			
		松本環					
42	花岡文雄	伊澤修	柄沢三男	西沢和夫			
43	花岡文雄	伊澤修	柄沢三男	西沢和夫			
44	鮎澤克巳	伊澤修	柄沢三男	宮沢啓			
45	鮎澤克巳	福井則八	宮沢啓	山口修			
46	鮎澤克巳	福井則八	宮沢啓	西沢五郎			

庶務係						
菊地金光	宮原雪夫	角田哲男	中沢 要	千野和子	高木利典	原 孝子
吉田 豊	菊地金光	上原富枝	中沢 要	高木利典		
菊地金光	山口喜子雄	上原富枝	田口勝雄			

庶務係		管理係長	管 理 係			
山口喜子雄	上原富枝	増田 進	会津 衛	田口勝雄		
山口喜子雄	上原富枝	増田 進	鈴木 昭	江口葉一		
塩野入貞雄	上原富枝	滝沢一雄	篠原新八	鈴木 昭	山口喜子雄	
塩野入貞雄	上原富枝	滝沢一雄	由井久人	清水敏雄		
塩野入貞雄	原ひろみ	依田久雄	由井久人	清水敏雄	飯島 茂	松木 環
原ひろみ	石田雅靖	依田久雄	福井則八	飯島 茂	野沢昭雄	村田 貢
原ひろみ		青沼武之助	川船宣彦	野沢昭雄	石川雅靖	桑原侃道
原ひろみ		菅原慶一	川船宣彦	野沢昭雄	石川雅靖	桑原侃道

地すべり係長	地すべり係			
田中良一	近藤正昭	上條 喜	望月巧一	生駒彦三郎
青沼勝巳	上條 喜	望月巧一	山内喜美男	
青沼勝巳	武田明真	望月巧一	牧田一夫	
青沼勝巳	上條 喜	小林栄司	宮島孝夫	
青沼勝巳	小林栄司	宮島孝夫		
青沼勝巳	望月巧一	小林栄司	松本 環	
塚田一夫	望月巧一	小林栄司		
塚田一夫	望月巧一	小林栄司		
塚田一夫	望月巧一	小林栄司		
塚田一夫	望月巧一	山口 修		

	課長	技 幹	砂防幹	技術専門幹	地すべり対策幹	事務補佐	技術補佐	庶務係長
昭47	松林正義	菅原慶一				松橋令太郎		松橋令太郎
48	松林正義					松橋令太郎		松橋令太郎
49	広瀬 潔					宮島幹雄		宮島幹雄
50	広瀬 潔					宮島幹雄		原 多門
51	広瀬 潔					清水俊光		原 多門
52	広瀬 潔					清水俊光	唐木正雄	原 多門
53	関戸研一					清水俊光	唐木正雄	堀内仙次
54	関戸研一					小松川富雄	宮澤 充	堀内仙次
55	関戸研一					宮澤賢三	望月巧一	木幡條二
56	関戸研一					宮澤賢三	望月巧一	松田 清
57	上條 喜		福井則八			山崎昭三	北村泰男	松田 清
58	上條 喜		福井則八			山崎昭三	北村泰男	松田 清
59	上條 喜		福井則八			原山 始	北村泰男	丸山 功
60	福井則八		北村泰男			草海雄次		丸山 功
61	福井則八			飯島 平	高坂雄二	草海雄次		丸山 功
62	福井則八			所河洋一	高坂雄二	草海雄次		稲葉弘二
63	福井則八			所河洋一	中島利行	坂本満雄		坂本満雄
昭元	福井則八			中島利行	佐々木勇	坂本満雄		坂本満雄
2	大久保駿			丸山良雄	今井康允	大槻一雄		大槻一雄
3	大久保駿			丸山良雄	今井康允	大槻一雄		大槻一雄

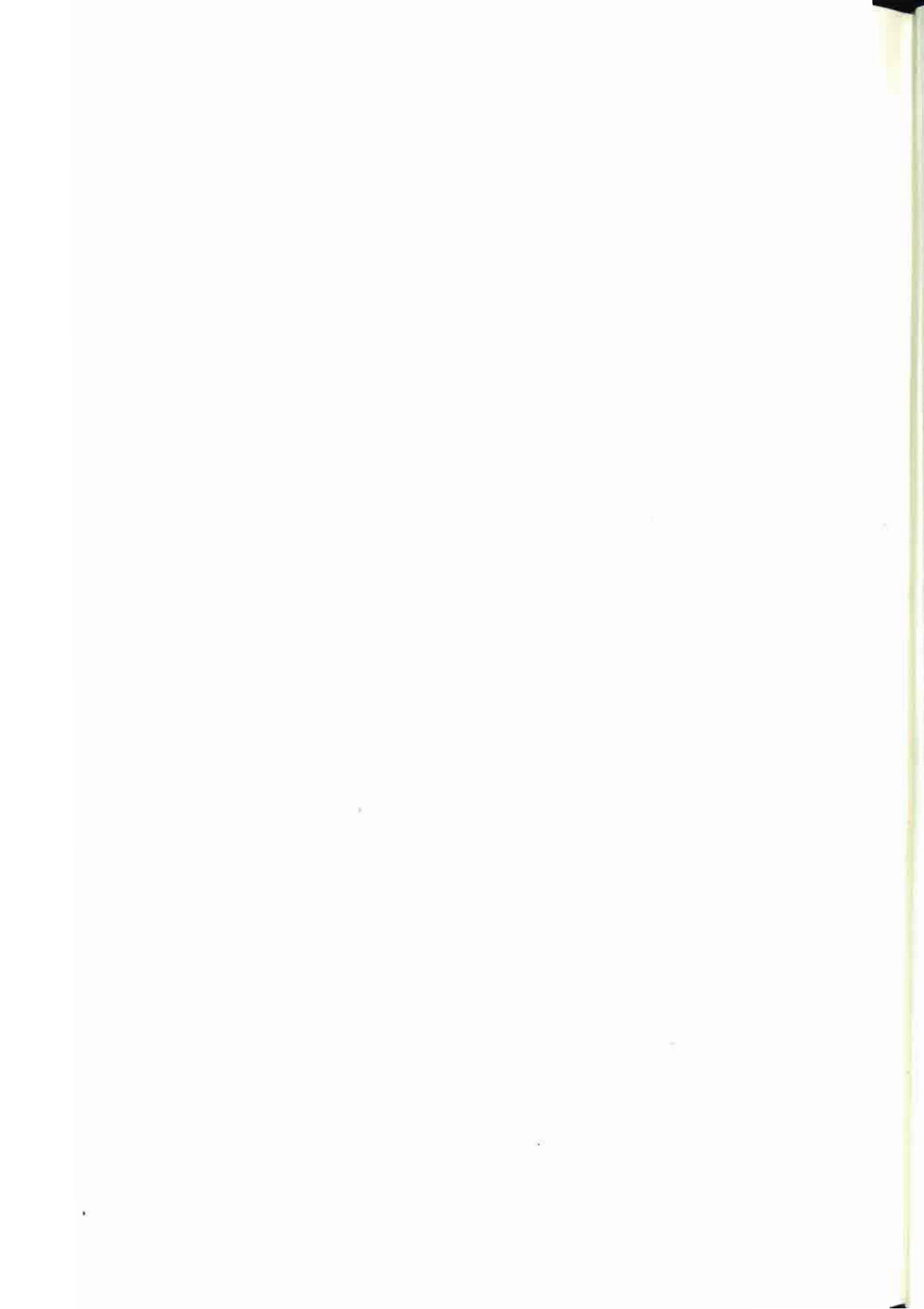
	砂防第1係長	砂防第1係			砂防第2係長	砂防第2係		
昭47	鮎澤克巳	福井則八	中島利行	西沢五郎	伊澤 修	徳永高範	宮沢 啓	
48	日浦茂喜	野沢昭雄	西沢五郎	北原正義	伊澤 修	徳永高範	牧田一夫	菅沼昭彦
49	日浦茂喜	保科 清	西沢五郎	北原正義	伊澤 修	野沢昭雄	牧田一夫	菅沼昭彦
50	日浦茂喜	保科 清	北原正義	戸田明宏	川船宜彦	野沢昭雄	牧田一夫	朝比昌大
51	唐木正雄	赤羽良夫	北原正義	戸田明宏	川船宜彦	水野泰秀	朝比昌大	
52	唐木正雄	赤羽良夫	水野泰秀	戸田明宏	宮澤 充	中村利隆	朝比昌大	
53	唐木正雄	赤羽良夫	水野泰秀	手塚秀光	宮澤 充	中村利隆	朝比昌大	
54	宮澤 充	中島利行	赤羽良夫	綱木亮介	望月巧一	中村利隆	山口千茲	
55	飯島 平	中島利行	山口 修	山崎憲雄	徳永昭三	峯村昌房	山口千茲	
56	飯島 平	尾坂壽夫	山口千茲	森山裕二	中村長蔵	峯村昌房	大井敏補	
57	北村泰男	尾坂壽夫	飯島 昭		中村長蔵	大井敏補	森山裕二	
58	北村泰男	尾坂壽夫	飯島 昭		中村長蔵	大井敏補	森山裕二	
59	北村泰男	中村 実	飯島 昭		徳永高範	二/宮陽太郎	篠原定良	
60	飯島 平	中村 実	篠原定良		峯村昌房	二/宮陽太郎	北村 勉	
61	飯島 平	菅崎 円	篠原定良		竹内 稔	二/宮陽太郎	北村 勉	
62	所河洋一	菅崎 円	萩野 厚		竹内 稔	北村 勉	藤沢和範	
63	所河洋一	松橋 裕	萩野 厚		丸山良雄	北村 勉	田下昌志	
昭元	中島利行	松橋 裕	長井義樹		丸山良雄	酒井文男	田下昌志	
2	丸山良雄	酒井文男	早川秀輔		桜井忠彦	和田隆年	田下昌志	
3	丸山良雄	鈴木一平	早川秀輔		桜井忠彦	戸谷勝彦	岡村幸男	

庶務係				調査管理係長	調査管理係			
小山 茂	塩野入貞雄	原ひろみ	石川雅靖	菅原慶一	川船宜彦	吉村博光	桑原侃道	
小林延秋	塩野入貞雄	石川雅靖	小林光子	岩倉暉美	尾崎 功	諏訪豊一	桑原侃道	
小林延秋	池田岩男	上原 登	小林光子	岩倉暉美	尾崎 功	諏訪豊一	小林真一	
池田岩男	上原 登	小林光子		藤倉 保	清水 成	西沢五郎	小林真一	
塩野入貞雄	上原 登	小林光子		藤倉 保	保科 清	清水 成	小林真一	
塩野入貞雄	小林真一	小林光子		西沢矩夫	大塚敏夫	清水 成	依田健一	
塩野入貞雄	皆川武人	黒柳美佐代		西沢矩夫	大塚敏夫	金井次郎	沢戸俊美	
塩野入貞雄	皆川武人	黒柳美佐代		花岡幸久	金井次郎	生駒彦三郎	沢戸俊美	
塩野入貞雄	皆川武人	黒柳美佐代		望月巧一	生駒彦三郎	高橋孝行	沢戸俊美	
青木基宜	黒柳美佐代	沢戸俊美		望月巧一	山口 修	高橋孝行		
青木基宜	黒柳美佐代	高橋孝行		大塚敏夫	松岡良徳	寺田久生		
青木基宜	黒柳美佐代	高橋孝行		大塚敏夫	松岡良徳	寺田久生		
青木基宜	高橋孝行	井上ひとみ		柄沢三男	松岡良徳	今井克彦		
青木基宜	三井豊明	井上ひとみ		柄沢三男	小林正登	今井克彦		
青木基宜	三井豊明	井上ひとみ		柄沢三男	小林正登	今井克彦		
青木基宜	三井豊明	竹内まり		福沢達雄	小林正登	鋤柄芳男		
青木基宜	酒井啓太郎	竹内まり		福沢達雄	藤牧康男	鋤柄芳男		
青木基宜	酒井啓太郎	竹内まり		松岡良徳	藤牧康男	鋤柄芳男		
青木基宜	酒井啓太郎	竹内まり		小林利彦	藤牧康男	鋤柄芳男		
青木基宜	町田文雄	竹内まり		小林利彦	宮下善人	田下昌志		

地すべり係長	地すべり技術専門員	地すべり係		
望月巧一		倉田克之	山口 修	
望月巧一		倉田克之	山口 修	
上條 喜		倉田克之	山口 修	
上條 喜		倉田克之	平沢 清	
上條 喜		大塚敏夫	平沢 清	
上條 喜		唐沢行雄	平沢 清	
中澤豊雄		唐沢行雄	生駒彦三郎	
中澤豊雄		唐沢行雄	手塚秀光	
所河洋一		島田洪三	手塚秀光	
所河洋一		島田洪三	山崎憲雄	
中村利隆		今井康允	山崎憲雄	
中村利隆		今井康允	山崎憲雄	
唐沢行雄		今井康允	城之内高志	
唐沢行雄		降旗睦芳	城之内高志	
唐沢行雄	山口 修	降旗睦芳	中條徹男	萩野 厚
山口 修	尾坂壽夫	降旗睦芳	中條徹男	
山口 修	尾坂壽夫	中條徹男	和田隆年	
尾坂壽夫		和田隆年	戸谷勝彦	
宮島孝夫		三井宏人	戸谷勝彦	
宮島孝夫		三井宏人	沖村 隆	

— H.3.11.1から小林寿利となる。





## お わ り に

長野県砂防課が設置されて50年を経過し、これを記念する行事の一つとして「長野県砂防史」の発刊を企画いたしました。

課が設置されてから半世紀と言えればこれだけでも大変な歴史だと思いますが、県の砂防事業は明治13年の木曾川支川蘭川での着工にまでさかのぼりますから、実に1世紀を超える長い歴史を刻んできていることとなります。一口に1世紀余りと言いますが、言いかえますと近代日本の誕生と同じ歴史でありますから、実に長く、そして意義深い期間であったわけです。

この間我国の砂防は西欧の技術を取り入れるところから始まり、我国の実情に即した形の技術にまで高め、今や世界に冠たる、そして世界をリードする“SABO”にまで成長してきたのです。長野県の砂防は、この我国の砂防の発展と歩調を合わせ、というより我国の砂防の発展の主導的役割を果たしてきたのです。先輩諸兄の大変な御努力と御労苦の積み重ねの結果と思う次第であります。あらためて畏敬の念を抱き敬意を表さずにはおれません。

この50年という節目にたまたま砂防事業を担当させていただいている私達は、我国の砂防の発展をリードするという、気概をもって仕事をしていかなければと強く感ずる次第です。

昨今の社会の要請は中広く、多様化してきています。砂防関係事業はその基本である災害防止や、県土の保全という目的を全うしなければなりません。しかし、これらの言葉にはどうしても「守り」という響きが強いのは否めません。新しい時代の新しい砂防は、「攻める」という気持で安全で豊かで快適でそして活力のある地域を、「創り出す」仕事を行っていきたいと考えております。

長い長野県の砂防の歴史を新しい飛躍への糧として大いに頑張りたいと考えております。皆様方の御教示、御鞭撻を深甚よりお願い申し上げます。

このたびの「長野県砂防史」は、昭和47年に刊行されました「長野県の砂防」にその後の歴史を加筆し、多少の追加修正をして出来上がりました。47年版が極めて綿密かつ十分な調査に基づいて編集されてあるということをお知らせいたしました。編集にあられた当時の先輩諸兄の御努力に敬意を表する次第です。

平成4年3月

長野県土木部砂防課長 大久保 駿

